

平成17年度

共通教育 履修案内

〔1年次の学生用〕

この履修案内は、共通教育授業時間割及び1年次の学生の履修手続等に関するお知らせするものです。学生のみなさんは、各学部の履修の手引きにより、共通教育の履修要件等を確認し、この履修案内と共通教育シラバスを参照して、履修計画をたててください。

なお、学生のみなさんは、この履修案内を紛失等しないように、留意してください。

● 山口大学 大学教育センター ●

平成 17 年度学年暦(カレンダー)

4 月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

4日(月)オリエンテーション
 5日(火)入学式
 6日(水)プレースメント・テスト
 フレッシュマンセミナー
 履修相談・健康診断
 11日(月)前期授業開始
 18日(月)～22日(金)
 前期履修届提出期間

10 月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11日(火)～14日(金)
 後期履修届提出期間
 24日(月)・25日(火)
 履修届確認期間

5 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9日(月)・10日(火)
 履修届確認期間

11 月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

後期クォーター2の授業開始日
 金曜日 25日(金)～
 火曜日 29日(火)～

6 月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

1日(水)山口大学創立記念日
 4日(土)・5日(日)
 第1回TOEICテスト
 6日(月)～前期クォーター2の
 授業開始
 (月曜日以外の曜日は
 14日(火)～)

12 月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

後期クォーター2の授業開始日
 月曜日 5日(月)～
 水曜日 7日(水)～
 木曜日 8日(木)～
 25日(日)冬季休業(～1/7(土))

7 月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

25日(月)～8月5日(金)
 前期末定期試験期間

1 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

17日(火)月曜日授業振替日
 20日(金)大学入試センター
 試験準備(臨時休業)
 30日(月)～2月10日(金)
 後期末定期試験期間

8 月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6日(土)第2回TOEICテスト
 6日(土)夏季休業(～9/29(木))

2 月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

11日(土)学年末休業
 (～3/31(金))

9 月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

30日(金)後期授業開始

3 月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

24日(金)卒業式

 ……授業期間
 ……定期試験期間

平成17年度 共通教育関係学事日程表

学期	日 時	摘 要	
前 期 平 成 17 年	4月 1日(金)～ 4月 7日(木)	春季休業	
	4月 4日(月)	オリエンテーション	
	4月 5日(火)	入学式	
	4月 6日(水)	プレースメント・テスト	
	4月 7日(木)	フレッシュマンセミナー(注1)	
	4月11日(月)	前期授業開始	
	4月18日(月)～ 4月22日(金)	履修届提出期間	
	5月 9日(月)～ 5月10日(火)	履修届確認期間(注2)	
	6月 1日(水)	山口大学創立記念日	
	6月 4日(土)～ 6月 5日(日)	第1回共通教育英語分科会主催TOEICテスト	
	6月 6日(月)	前期クォーター2の授業開始(その他曜日は14日～)	
	7月25日(月)～ 8月 5日(金)	前期末定期試験期間	
	8月 6日(土)～ 9月29日(木)	夏季休業	
	8月 6日(土)	第2回共通教育英語分科会主催TOEICテスト	
	後 期 平 成 18 年	9月30日(金)	後期授業開始
		10月11日(火)～ 10月14日(金)	履修届提出期間
		10月24日(月)～ 10月25日(火)	履修届確認期間(注2)
11月25日(金)		後期クォーター2の授業開始(注3)	
12月25日(日)～ 1月 7日(土)		冬季休業	
1月17日(火)		月曜日授業振替日(注4)	
1月20日(金)		臨時休業(大学入試センター試験準備のため)	
1月30日(月)～ 2月10日(金)		後期末定期試験期間	
2月11日(土)～ 3月31日(金)		学年末休業	
3月24日(金)		卒業式	

▶この学事日程については、共通教育に関するもので、所属する学部固有の行事等については、所属する学部の教務担当係の指示に従ってください。

(注1) フレッシュマンセミナーの日程等については、所属する学部により異なりますので、所属する学部の教務担当係の指示に従って、必ず参加してください。

(注2) 履修届確認期間については、変更となる場合がありますので、掲示に留意しておいてください。

(注3) 後期クォーター2の授業開始について(11月25日(金)、11月29日(火)、12月5日(月)、12月7日(水)、12月8日(木))

(注4) 月曜日授業振替日とは、祝祭日等により休日となる月曜日の授業を振り替えて、当該の日に月曜日の授業を行う日です。従って、振り替えられた曜日の授業については、開講されません。

目次

I. 共通教育とは		
1. 共通教育とは	1	
2. 共通教育の内容	2	
II. 共通教育の仕組み		
1. 学期と授業時間	4	
2. 単位の基準	5	
3. 共通教育の実施方法—受講制限・補講—	7	
4. 共通教育の授業計画	8	
III. コースカリキュラムの仕組み		
1. コースカリキュラムとは	9	
2. 科目編成表について	10	
3. コースマトリックス表について	13	
4. 学生別履修要件表及びコースカリキュラムの修了について	13	
IV. 共通教育科目の履修上の注意		
1. 履修科目の登録の上限について	17	
2. 英語の履修について	18	
3. 初習外国語の履修について	22	
4. 理科基礎系授業科目の履修について	25	
5. 実験系授業科目の履修について	26	
6. 運動健康科学及びスポーツ運動実習の履修について	27	
7. フレッシュマン・セミナー(新入生合宿)について	28	
8. 日本語・日本事情の履修について	28	
9. 教育職員免許状について	29	
V. 学外における授業科目の履修等について		
1. 既修得単位の認定	30	
2. 放送大学の授業科目の履修について	30	
3. 山口県立大学の授業科目の履修について	30	
4. 派遣留学先の授業科目の認定	31	
VI. 履修手続について		
1. 履修手続について	32	
2. 履修手続に関する注意事項	35	
3. 履修及び授業に関する問い合わせ	35	
VII. 共通教育の定期試験について		
1. 定期試験について	36	
2. 定期試験の受験上の注意	36	
3. 追試験について	37	
4. 成績の通知等について	38	
VIII. 共通教育における学生生活について		
1. 共通教育に関する諸連絡等について	39	
2. 台風時に伴う授業及び定期試験の取り扱い	40	
3. 学生生活における留意事項	40	
4. 共通教育棟の教室使用について	41	
5. 共通教育メディア教育棟の情報処理演習室の利用について	41	
6. 共通教育本館コインロッカーの使用について	42	
IX. 山口大学共通教育履修規則		43
X. 平成17年度 共通教育授業時間割		48
○ 附表	70	



I. 共通教育とは

1 共通教育とは

(1) 共通教育とは

共通教育とは、山口大学の理念と目標のうち、『**教養教育**』の目標を達成するための教育を行う組織です。

教養教育の目標

〈自ら〉が
“発見し・はぐくみ・かたちにする”ことを通して、
真に人間的な
平和・幸福・豊かさを探求し、実現するための
「礎」を築きます。

共通教育については、山口大学のすべての学部全教員が協力して、実施しています。学生のみなさんは、所属する学部や学科により異なる専門教育に加えて、学部や学科の垣根を越えて開設されている共通教育についても、卒業に必要な教育の一環として履修します。共通教育を学習することによって、いろんな学部の多彩な専門分野を研究している教員と出会うことができます。

(2) 共通教育の特色

共通教育の第1の特色については、以下の『**教養教育の目標：驚き**』に示されています。

教養教育の目標：驚き

驚きを大切に、〈自ら〉が
考え・判断・表現・行動・発言する能力を養います。

『〈自ら〉考え・判断・表現・行動・発言する能力』については、共通教育だけでなく、専門教育においてもまた養われていくものですが、共通教育においては、その基礎として、以下の3つの能力の養成を重視しています。

- ① 日本語により読み・書き・議論する能力
- ② コンピューターやインターネットを使える能力
- ③ 英語のコミュニケーション能力

共通教育の第2の特色については、以下の『**教養教育の目標：夢**』に示されています。

教養教育の目標：夢

夢を描きつづけ、
自らが生涯を通じての
「知の探求者」になるための
「礎」を築きます。

めまぐるしく変化する社会において、今ある知識については、すぐにさびついてしまいます。山口大学を卒業した後も、いつでも新しいことを学ぼうとし、また学び続けられる『**知の探求者**』となることが重要です。そのために必要な「礎」を身につけられるようにすることが、共通教育の真の目標なのです。

2 共通教育の内容

(1) 共通教育の教育システム

本学の共通教育については、コースカリキュラムに基づいて、以下のような教育システムにより実施されています。



共通教育の教育システム

- ① 大学4年間(あるいは、6年間)一貫教育によるゆとりのある教育システム
- ② セメスター制(一部、クォーター制)による授業科目の提供
- ③ TOEIC等を導入した外国語教育の実施
- ④ 情報リテラシー教育の充実
- ⑤ IT機器を利用した授業科目の積極的な導入
- ⑥ 少人数による学生と向き合った対面教育の実施

(2) 共通教育の区分

共通教育科目については、学問としての幅広く深い教養及び総合的判断力を培う教養科目及び大学生としての最低限身に付けるべき学問の基礎的技能教育を行う基礎科目の2つに大別されます。

(3) 教養科目

教養科目については、以下のように分類され、幅広い分野の教養を学習することにより、物事を捉える総合的な判断力と多角的な視野を養成していきます。

① 主題系列

1年次の学生を対象とした転換期教養科目であり、知的興味を喚起し、将来にも及ぶ豊かな知識を育成することを目指した授業科目群です。授業科目としては、以下の6つの主題から構成され、それぞれの主題においては、いくつかの副題(テーマ)により構成されています。例えば、前月曜日5・6時限の「加齢と健康」については、健康とスポーツの副題となります。

思想と文化

芸術と表現

社会と組織

環境と人間

自然と科学

健康とスポーツ

② 人文科学系列、社会科学系列、自然科学系列(文科教養系)及び応用科学系列(応用科学系)

様々な学問の分野において、それぞれのオリジナルな考え方や概念を理解し、柔軟な思考力を養成することを目指した授業科目群です。

③ 外国語教育系列(初習外国語系)

初習外国語の運用能力を身に付けるとともに、その外国語の背景にある異言語文化との接触により国際的視野を広げ、異文化理解を深めていき、国際化社会にふさわしい教養と柔軟な適応力を養成することを目指した授業科目群です。

④ 一般系列(総合科目)

現代的なテーマについて、学問の高度な進歩による過度に専門化した授業を避けて、分野の境界を越えた多角的な視野から問題を捉えられる視点を養成することを目指した授業科目群です。この授業科目群については、マネージャー役の担当教員を中心として、複数の学問領域の担当教員が、オムニバス形式により講義を行います。

原則として、**2年次以降の高年次生用の授業科目**として、開設されています。



(4) 基礎科目

基礎科目については、以下のように分類され、それぞれの分野における大学生としての基礎的な知識や学力を養成していきます。

① 自然科学系列（理科基礎系）、応用科学系列（医療福祉系）

理学部、医学部、工学部等の理系学部における共通的な基盤としての基礎的知識の修得と、理系学部在籍する学生の基礎学力の養成を目指した授業科目群です。

② 初期教育系列

大学における学習のために絶対不可欠な基礎的な学習能力及び基礎知識としての情報処理技術の養成を目指す授業科目群です。

③ 外国語教育系列（英語系）

TOEICに準拠したカリキュラムに基づいて、国際的なコミュニケーション能力を有する英語能力の習得に重点を置きながら、一般的な意味における英語能力(読む・書く・聞く・話す)の総合力の養成と専門教育における必要不可欠な英語能力の育成を目指す授業科目群です。

Q：大学の授業ですが、難しくないですか？

A：大学の授業、特に講義形式の授業を受講すると、始めのうちは難しく感じることでしょう。それは、高等学校までの授業とは、かなり違った方法により授業を進められていくからなのです。大多数の大学の授業においては、ノートにまとめて、その内容を覚えるだけでは、本当に学んだことにはなりません。自分自身で考えるというプロセスを踏まないと、本当に学んだことにはならないのです。

大学の授業を難しく感じる理由の1つは、ある授業において、学生のみなさんにある決まった知識を与えているのではなく、自分自身が考えるための材料を与えているからなのです。「大学で学ぶ」ということは、授業を単に聞くことではなく、**自分自身で考える**ということから始まるのです。

そのために必要なことと言えば、疑問点等を担当教員に質問することが、**自分自身で考える**ための良いきっかけになります。質問については、授業中だけではなく、オフィス・アワーを利用したり、e-mailにより可能です。また、関連した書籍や資料を読んでみることも良いでしょう。



Ⅱ. 共通教育の仕組み

1 学期と授業時間

(1) 学期（セメスター制）について

共通教育においては、1年間を前期と後期との2つの学期に分けて、それぞれの学期ごとに各授業を完結させるセメスター制を採用し、すべての授業科目を開講しています。

なお、各学期の期間については、以下のとおりです。

前期 4月1日～9月30日

後期 10月1日～3月31日

（ただし、平成17年度の後期の授業については、9月30日から始まります。）

(2) クォーター授業について

共通教育における一部の授業科目にあつては、各セメスター（前期または後期）の半分の期間において、各授業を完結させる（クォーター制）授業を開講しており、クォーター授業と呼んでいます。クォーター授業については、以下のような授業科目が挙げられます。

なお、クォーター授業の時間割表記等については、48ページの《**授業時間割の表記の例**》を参照ください。

例 1 〔前期クォーター1〕物理学入門1 → 〔前期クォーター2〕物理学入門2

例 2 〔前期クォーター1〕TOEIC準備 → 〔前期クォーター2〕TOEIC指導

例 3 〔後期クォーター1〕地球科学の考え方 → 〔後期クォーター2〕化学の考え方

(3) 授業時間について

共通教育における授業時間については、以下のとおり設定されています。

開講キャンパス等	時 限	授 業 時 間	備 考
吉田キャンパス 小串キャンパス 常盤キャンパス(昼間)	1・2時限	8時40分～10時10分	
	3・4時限	10時20分～11時50分	
	5・6時限	12時50分～14時20分	
	7・8時限	14時30分～16時00分	
	9・10時限	16時10分～17時40分	
	11・12時限	17時45分～19時15分	
	13・14時限	19時20分～20時50分	
	5・6・7・8時限	12時50分～15時50分	実験系授業科目
	7・8・9・10時限	14時30分～17時30分	実験系授業科目
常盤キャンパス(夜間主)	1・2時限	17時45分～19時15分	
	3・4時限	19時20分～20時50分	
	5時限	20時55分～21時40分	
	3・4・5時限	19時20分～21時35分	実験系授業科目

Q：先輩から「コマ」という言い方を聞いたのですが？

A：各授業については、90分の授業を基本としていますから、それを通称「1コマ」という言い方をします。「今日は、2コマ目（3・4時限）が休講だ!」とか「明日は、5コマも授業がある!」という使い方をします。

(4) 月曜日授業振替日について

月曜日授業振替日とは、祝祭日等により休日となる月曜日の授業を所定の日に振り替えて、月曜日の授業が行われる日のことを言います。したがって、振り替えられた曜日の授業については、開講されません。月曜日振替授業日にあつては、原則として、すべての月曜日の授業を開講しますが、非常勤講師等の都合等により、開講されない場合もあります。

2 単位の基準

(1) 単位及びその基準について

学生のみなさんの大学における学修を数量的に示すものとして、「単位」という言葉が用いられます。標準としては、45時間の学修を必要とする内容をもって構成される授業科目に1単位が与えられます。この45時間については、大学の教室等における授業の部分と授業時間外の自宅学習の部分との和をあらわします。

単位の基準については、講義及び演習にあつては、15時間の授業をもって1単位とし、実験、実習及び実技については、30時間の授業をもって1単位とします。各授業科目の授業時間と単位数の関係については、以下のとおりです。

区 分	週授業時間数	学期当りの単位数 (1学期：15週) (前期または後期)	備 考
講 義 ・ 演 習	2 時 間	2 単 位	
実 験	4 時 間	1/2 学 期 1 単 位	医学部及び工学部の学生
	4 時 間	2 単 位	理学部及び農学部の学生
実 習	2 時 間	1 単 位	
外 国 語	2 時 間	2 単 位	
	4 時 間	※4 単 位	
日 本 語	2 時 間	1 単 位	外国人留学生

※一部の授業科目（「ドイツ語初級1」等）については、1学期30週となります。

(2) 成績及び単位修得について

成績については、共通教育シラバスに掲載されている各授業科目における担当教員の成績評価方法（定期試験（中間試験及び期末試験）の成績、小テスト、レポート、宿題、授業態度、出席状況等）によって、100点法により算出されます。

担当教員の評点に基づいて、**60点以上の場合には、その授業科目を合格**とし、単位を修得することができますが、**59点以下の場合には、その授業科目を不合格**とし、単位を修得することができません。また、担当教員の評点に基づく成績の評語については、以下のとおりです。

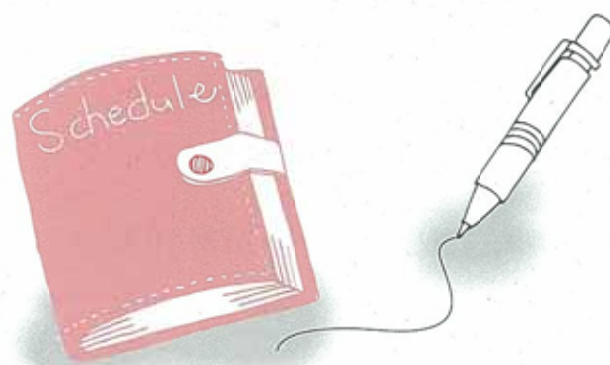
評 語	評 点	合否種別
秀	100点～90点	合格
優	89点～80点	
良	79点～70点	
可	69点～60点	
不可	59点～0点	不合格

Q：「単位」って何なの？

A：学生のみなさんが、所属する学部において、進級や大学を卒業したという資格を得る際には、この「単位」というものを基準にして、判定されることになります。「単位」とは、学生のみなさんの大学における学修とその成果を数量的に示したものです。

履修した授業科目の成績については、秀～可までを合格して判定され、「単位」を修得したことになるわけですが、確かに、成績が良いにこしたことはありませんが、「単位」を修得できたかということは、それ以上に重要なことなのです。

それから、大学においては、講義、実験、実習等いろいろな形態の授業科目があり、学生のみなさんが修得できる「単位」については、みなさんそれぞれ違いがあります。したがって、どの授業科目の「単位」を修得して、合計どれだけの「単位」を修得しているかということは、自分自身の責任において、しっかり把握しておかないといけません。



3 共通教育の実施方法—受講制限・補講—

(1) 受講制限について

共通教育科目については、適正な授業運営及び教育効果の向上のために、受講制限を実施することがあります。

第1回目の授業において、適正な受講者数を超過した場合には、当該授業の担当教員の判断により受講制限を実施し、第2回目の授業から受講する学生の人数を調整します。抽選等により受講制限を実施した授業科目については、第2回目から受講が可能となった学生の名簿を掲示しますので、第2回目の授業日までに掲示を確認して、受講してください。

なお、受講制限を実施した授業科目においては、第2回目以降の授業から、新たに当該授業を受講することはありません。

(2) 受講制限となりやすい授業科目

例年、受講制限となりやすい授業科目については、以下のとおりです。以下の授業科目を履修しようとする場合には、初回の講義に出席することが必要となります。

なお、以下の授業科目以外においても、共通教育シラバスにおいて、受講制限の告知を行っている授業科目がありますので、シラバスの記載内容を確認しておくことが必要となります。

系 列	分 野	授 業 科 目 名
人 文 科 学	倫 理 学	倫理学, 生命倫理学
	歴 史 学	日本史, 東洋史, 西洋史
	心 理 学	心理学
社 会 科 学	経 済 学	経済学
	社 会 学	社会学
	地 理 学	地理学
	文 化 人 類 学	文化人類学
	教 育 学	教育学
応 用 科 学	情 報 処 理 概 論	情報処理概論
	応 用 科 学	科学史, 生命科学概論, 環境学, 運動健康科学, スポーツ運動実習
外 国 語 教 育	英 語	英語リーディング
	初 習 外 国 語 入 門	中国語入門1, ハングル入門1
	中 国 語	中国語初級1 a, 中国語初級1 b
	ハ ン グ ル	ハングル初級1
一 般	一 般 総 合	総合科目(前期開講科目)

(3) 補講の実施について

共通教育科目については、不足分の授業内容を補うために、担当教員の判断により、補講を実施することがあります。補講の実施曜日及び時限等については、掲示等を確認してください。

(4) 学生授業評価（アンケート）の実施について

共通教育科目については、学生のみなさんが受講しているすべての授業科目ごとに、それぞれの最後の授業において、「学生授業評価（アンケート）」を実施しています。

このアンケートにおけるみなさんの回答については、より良い授業をつくっていくための資料となりますので、学生のみなさんの率直かつ厳正な回答をお願いしています。学生のみなさんには、受講しているすべての授業科目ごとに、アンケートに繰り返し回答していただくこととなりますが、それぞれの授業に対して、みなさんの意見を反映させる貴重な機会ですので、ご協力をお願いいたします。

なお、学生授業評価の回答によって、学生のみなさんの当該の授業科目の成績評価に対して、何ら影響を及ぼすものではありません。

4 共通教育の授業計画

(1) 平成17年度における授業計画

平成17年度における共通教育の授業計画については、48ページ～69ページに記載されています【X. 平成17年度 共通教育授業時間割】のとおり実施します。

開講されるそれぞれの授業科目については、所属する学部及び学科等において、必修または選択必修、単位数の制限等がありますので、詳細については、【IV. 共通教育科目の履修上の注意】及び各学部の履修の手引きを確認してください。

なお、授業科目によっては、学部や学科等ごとに対象学生を指定していたり、出席番号によりクラス指定されているものもありますので、特に留意してください。

(2) 共通教育履修案内

共通教育履修案内においては、当該年度の共通教育時間割及び共通教育科目の履修手続に関する情報を記載しています。

なお、共通教育履修案内については、学生のみなさんが卒業するまで使用するものですので、紛失等しないように、大切に取扱ってください。

(3) 共通教育シラバス

共通教育シラバスにおいては、当該年度の各共通教育科目の授業の概要や授業計画、成績判定方法、テキスト等に関する情報を記載しています。

Q：シラバスって何なの

A：シラバスにおいては、それぞれの授業の詳しい内容や目標、成績判定方法、テキストや参考書、担当教員からのメッセージ等、学生のみなさんが、たくさん開講されている授業科目の中から、履修する授業を選択する道しるべとなる有益な情報をたくさん盛り込んでいます。【〇〇の授業内容について、〇〇の理解を深めたら、この授業科目を合格とします。】というように、シラバスとは、**授業を履修しようとする学生とその授業を開講している教員との契約書のようなもの**なのです。したがって、履修する授業を選択するときだけではなく、授業の進行してる間にあっても、シラバスの内容をチェックすることをお勧めします。

なお、共通教育については、分厚い冊子の「共通教育シラバス」と山口大学ホームページ上の「全学WEBシラバス」とが、作成されています。また、所属する学部によっては、CD-ROMを配付している学部もあります。これらのシラバスを参照しながら、学生のみなさんが履修した授業科目の学習に役立ててください。



Ⅲ. コースカリキュラムの仕組み

1 コースカリキュラムとは

(1) コースカリキュラムとは

コースカリキュラムとは、あらかじめ設定された「コース」に定められた授業科目を履修して、1つ以上の決められた数のコースを修了し、卒業に必要な単位数を修得していく教育カリキュラムです。コースカリキュラムの特徴には、学生のみなさんの多様な希望や学習状況に応じた「自由選択度」の高いカリキュラムであることが挙げられ、学生のみなさん個人個人の能力に適った授業科目を選択すること、設定された「コース」により体系的に授業科目を履修することが可能となり、学生のみなさんの学修効果を向上させることができるカリキュラムとなっています。

(2) コースカリキュラム・マトリックス表

学生のみなさんは、各学部の履修の手引きに掲載されているコースカリキュラム・マトリックス表に基づき、単位を修得していくことになります。このコースカリキュラム・マトリックス表については、**科目編成表**、**コースマトリックス表**及び**学生別履修要件表**からなり、この3つの表の仕組みについて、次に説明していきます。

コースカリキュラム・マトリックス表 (例)

系 分 野	授業科目	教 育 種 別	科 目 類 型	単 位 数	積 み 上 げ 履 修	初 期 教 育	主 題 教 養	歴 史 と 思 想	法 律 と 社 会	物 理 学 標 準 A	英 語 標 準 A	英 語 標 準 B	ド イ ツ 語 入 門	フ ラ ン ス 語 入 門	留 学 生 特 例	備 考
主 題	思想と文化	共通	包括	2	4		○	◎	①							
	芸術と表現	共通	包括	2	4		○	◎								
	社会と経済	共通	包括	2	4		○	◎								
	環境と人間	共通	包括	2	4	可	○	◎								
	自然と科学	共通	包括	2	4	可	○	◎								
人 文 科 学	日本史	共通	総説	2				○	◎							
	西洋史	共通	総説	2				○	◎							
自 然 科 学	物理学入門1	共通	基礎	1						◎	◎					
	物理学入門2	共通	基礎	1						◎	◎					
初 期 教 育	フレッシュマンセミナー(新入生必修)	共通	基礎	0		◎										
	基礎セミナー	共通	基礎	2		◎										
外 国 語	TOEIC聴解	共通	包括	1				◎			◎	◎			○	
	TOEIC読解	共通	基礎	1							◎	◎				
	英語基礎文法	共通	展開2	2							◎	◎				
	English Speaking	共通	展開2	2							◎	◎				
	TOEIC認定400	共通	総説	0							◎	◎				
	英語リーディング	共通	展開1	2							◎	◎				
	英語ライティング	共通	展開1	2							◎	◎				
	英語特別演習	共通	展開1	2							◎	◎				
	Comprehensive English Fundamental	共通	展開1	2							◎	◎				
	Comprehensive English Pre-Intermediate	共通	展開1	2							◎	◎				
初 習 外 国 語 入 門	TOEIC認定500(TOEFL450)	共通	展開1	2							◎	◎				
	TOEIC認定500(TOEFL500)	共通	展開1	2							◎	◎				
	ドイツ語入門1	共通	総説	2									◎			
	ドイツ語入門2	共通	総説	2									◎			
日 本 語	フランス語入門1	共通	総説	2										◎		
	フランス語入門2	共通	総説	2										◎		
共通教育科目単位一括認定一編入学者用	認定	包括		1	6										○	

学 生 別 履 修 要 件 表	学 区 分	必 修 了 コ ー ス 数	単 位 数 定	初 期 教 育	主 題 教 養	歴 史 と 思 想	法 律 と 社 会	物 理 学 標 準 A	英 語 標 準 A	英 語 標 準 B	ド イ ツ 語 入 門	フ ラ ン ス 語 入 門	留 学 生 特 例	卒 業 要 件 単 位 数
〇〇学部	〇〇学科	①	4	4	2	2	4	4	4	4	4	4		42
				4	4	2	4	4	4	4				
〇〇学部	〇〇学科	②	4	4	2	2	4	4	4	4	4	4		44
				4	4	2	4	4	4	4				

Q: コースカリキュラム、どのように履修していくの?

A: コースカリキュラム・マトリックス表を見て、“いきなり自分の履修の計画を設計してください”って、言われても、どうすればいいのでしょうか? まず最初に、学生のみなさんは、学生別履修要件表の学生区分に示されたあなたの学科等を探してください。

あなたの学生区分においては、どんなコースを選択することができますか? 選択できるコースの中には、どんな授業科目に◎や○が付いていますか? そして、その授業科目とは、どのように履修して、いつ開講されていますか? いろんな「?」を挙げてみましたが、こうした「?」を解決していくのは、学生のみなさん自身なのです。コースカリキュラムとは、コースカリキュラム・マトリックス表という海の上に、学生のみなさん一人一人が、それぞれの航海をしていくようなものです。コースカリキュラムの詳細については、これから説明していきますが、分からないことに直面したときには、先輩や友達の曖昧な情報を頼りにしないで、担当の先生や教務担当係に相談してください。

2 科目編成表について

(1) 科目編成表について

コースカリキュラム・マトリックス表の左上部に記載している科目編成表には、共通教育に開設されている授業科目が記載されており、体系化する系列、分野、授業科目の設置、科目類型、単位数等が表記してあります。

科目編成表 (例)

科目編成表							...
系	分野	授業科目	設置	科目類型	単位数	積み上げ履修	
主	思想と文化	思想と文化	共通	包括	2	4	コースマトリックス表
	芸術と表現	芸術と表現	共通	包括	2	4	
	社会と組織	社会と組織	共通	包括	2	4	
	環境と人間	環境と人間	共通	包括	2	可	
	自然と科学	自然と科学	共通	包括	2	可	
	健康とスポーツ	健康とスポーツ	共通	包括	2	可	
人文科学	歴史学	日本史	共通	総説	2		
		東洋史	共通	総説	2		
		西洋史	共通	総説	2		
	宗教学	宗教学	共通	総説	2		
自然科学	生物学	生物学入門1	共通	基礎	1		
		生物学入門2	共通	基礎	1		
		生物学I	共通	総説	2		
		生物学II	共通	総説	2		
外国語教育	英語	TOEIC準備	共通	包括	1		
		TOEIC指導	共通	基礎	1		
		英語基礎文法	共通	展開2	2		
		English Speaking	共通	展開2	2		
		TOEIC認定400	共通	総説	0		
		英語リーディング	共通	展開1	2		
		英語ライティング	共通	展開1	2		
		英語特別演習	共通	展開1	2		
		Comprehensive English Fundamental	共通	展開1	2		
		Comprehensive English Pre-Intermediate	共通	展開1	2		
		TOEIC認定500(TOEFL450)	共通	展開1	2		
TOEIC認定600(TOEFL500)	共通	展開1	2				

(2) 系列と分野

系列と分野とは、科目編成表を体系化するグループであり、それぞれの授業科目を分野により学際的にグループ化させ、各分野を系列により体系化しています。

(3) 設置

設置については、以下の3つの形態があります。

設置

- ① **共通**：共通教育設置の授業科目
- ② **開放**：各学部の専門科目のうち、共通教育科目として学生を受け入れることが認められた授業科目
- ③ **認定**：他の教育機関等における修得単位の認定を行う際に、コースカリキュラムに特例的に設置する授業科目

(4) 科目類型

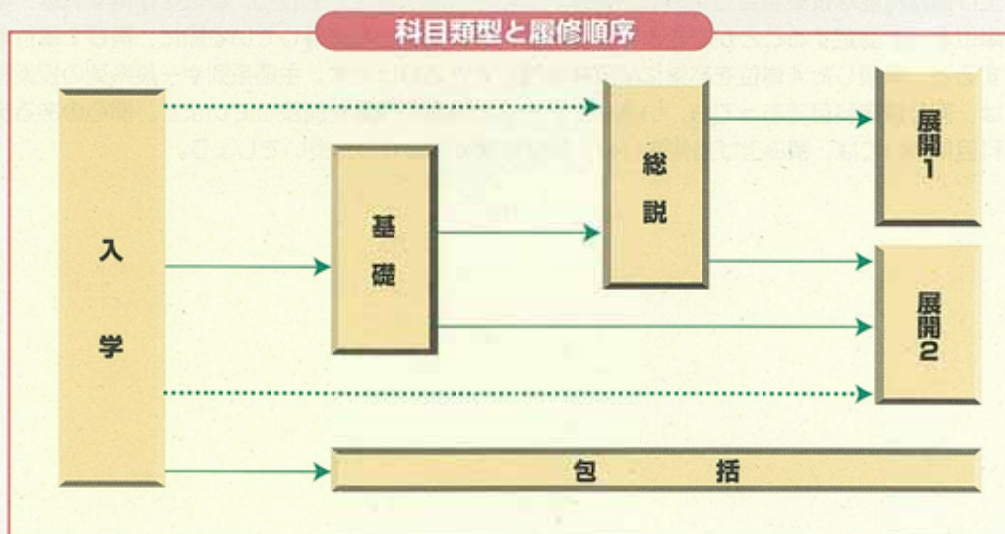
科目類型とは、1つの分野に属する授業科目群において、それぞれの授業科目を段階的に履修していくことを可能とする分類のことであり、以下の4つの類型に分かれています。

科目類型

- ① **基礎**：当該の分野において、大学以前の教育課程に修得しておくべき程度の内容を学修し、大学教育に適應する能力を養成する授業科目で、基礎の学力を有すると認められた学生に対しては、履修を免除します。
- ② **総説**：当該の分野の基礎を学んでいることを前提として、広い教養を身につけていく授業科目で、**同一の分野のすべての基礎の授業科目の単位を修得した学生が、履修することができます。**
- ③ **展開**：当該の分野の総説の授業科目から、より発展した内容を学修し、深い知識と教養を育成する授業科目で、**展開1と展開2の2つの科目類型を設定しています。**
(展開1) 同一の分野のすべての総説の授業科目の単位を修得した学生が、履修することができます。
(展開2) 同一の分野のすべての基礎の授業科目の単位を修得した学生が、履修することができます。
- ④ **包括**：1つの授業科目において、その授業の進行に応じて、基礎から展開にと内容を段階的に深めていく授業科目です。

Q：科目類型による履修順序を教えてください。

A：ある1つの分野の中の履修順序として、以下の図のように示すことができます。当該の分野の中に、基礎の授業科目が存在しない場合には、入学当初から総説及び展開2の授業科目を履修することができます。



Q：英語分野の「英語基礎文法」を履修するためには？

A：「英語基礎文法」の科目類型については、展開2となっています。展開2の授業科目を履修するためには、同一の分野のすべての基礎の授業科目の単位をすべて修得していないといけません。つまり、「TOEIC指導」の単位を修得していないと、履修することができないわけです。

Q：応用科学分野の「環境学」を履修するためには？

A：「環境学」の科目類型については、展開2となっています。しかし、上記の「英語基礎文法」と異なるところは、同一の分野に基礎の授業科目がありませんので、入学当初から、総説の授業科目と同じように履修することができます。

Q：中国語分野の「中国語中級1」を履修するためには？

A：「中国語中級1」の科目類型については、展開1となっています。展開1の授業科目を履修するためには、同一の分野のすべての総説の授業科目の単位を修得していないといけません。つまり、「中国語初級1a」、「中国語初級1b」、「中国語初級2a」及び「中国語初級2b」のすべての単位を修得していないと、履修することができないわけです。

(5) 積み上げ履修について

積み上げ履修とは、既に単位を修得した授業科目を繰り返し履修することをいいます。

科目編成表の積み上げ履修の項目において、「可」と表示されている授業科目については、同じ授業科目を繰り返し履修し、単位を修得した際には、当該の授業科目の単位数を既に修得した単位数に累積して、卒業に必要な単位として算入できます。

また、「4」等の数値が表示されている授業科目にあつては、その数値については、卒業に必要な単位として算入できる**上限の単位数**を示しています。したがって、**上限単位数を超えた単位数については、卒業に必要な単位に算入されません**ので、留意してください。

なお、所属する学部によっては、積み上げ履修を認められている授業科目等が異なりますので、各学部の履修の手引きに掲載されているコースカリキュラム・マトリックス表を参照して、履修してください。

Q：既に「思想と文化」の単位を修得していますが、履修することができますか？

A：積み上げ履修可能な授業科目ですので、履修することができます。そして、単位を修得すれば、卒業に必要な単位として認定することができます。つまり、既に2単位を修得している際に、再び2単位を修得したとすると、累積した4単位を卒業に必要な単位にできるわけです。主題系列や一般系列の授業科目については、同じ授業科目であっても、いろんなテーマの内容の授業を開設しています。関心のあるテーマの授業科目については、積み上げ履修を行い、教養を深めていくのも良いでしょう。

3 コースマトリックス表について

(1) コースマトリックス表について

コースカリキュラム・マトリックス表の右上部に記載しているコースマトリックス表には、あらかじめ設定された「コース」を列に表記し、行に示された授業科目に対応させて、それぞれのコースを構成する授業科目について、◎、○、①または②により表記してあります。

なお、あらかじめ設定されたコースにおいて、それぞれの丸印によって、コース内の授業科目をグループ化することについて、「ゾーン指定」と呼び、ゾーン指定されたグループを「ゾーン」と呼んでいます。

(2) 丸印の種類と意味について

コースマトリックス表に表記されている◎の授業科目については、当該のコースを修了するための**必修科目**です。また、○、①、②の授業科目については、当該のコースを修了するための**選択科目**であり、それぞれの丸印によりグループ化され、各グループ内の選択科目であることを意味しています。

Q：○の付いていない授業科目を履修することができますか？

A：履修することができます。ただし、当該の授業科目の単位を修得したとしても、卒業に必要な単位に算入できませんので、留意してください。

4 学生別履修要件表及びコースカリキュラムの修了について

(1) 学生別履修要件表について

コースカリキュラム・マトリックス表の下部に記載している学生別履修要件表においては、あらかじめ設定された「コース」を列に表記し、行に示された学生区分に対応させて、それぞれのコースを修了するための要件等について、単位数により表記してあります。

学生別履修要件表においては、あらかじめ設定された「コース」に対応する学生区分について、4段以上の行が表記されています。この下から2段目の行を**コース行**と呼び、最下段の行を**ブロック行**と呼びます。また、コース行とブロック行を除いたその他の行については、それぞれゾーンを示しています。

学生別履修要件表 (例)

学生区分		必修 コース数	単位認定		歴史 と思想	法律 と社会	環境 と技術	英語 標準A	ドイツ 語入門	フランス 語入門	...	卒業 要件 総単 位数
○○学部	○○学科		ゾーン要件 単 位数	◎			2	4	4	4	...	42
			○	4-	4-	2-	2-					
			コース修了要件単位数	4-	4-	4-	6-	4-	4-			
			ブロック修了要件単位数		12-	4-	6-	1コース4単位				
○○学部	○○学科		ゾーン要件 単 位数	◎	2	2		4			...	44
			○	2-	2-		4-					
			①	2-	2-	2-						
			②	2-	2-	2-						
			コース修了要件単位数	6-	8-	4-	8-					
			ブロック修了要件単位数		20-		8-					

(2) 学生区分とは

学生区分とは、学生別履修要件表に適用される学生の履修パターンのグループを示し、学部や学科名等により表記されています。学生のみなさんは、必ずいずれかの学生区分に属し、当該の学生区分に基づいて、単位を修得していくことになります。

(3) ゾーンの修了について

ゾーンを修了するためには、学生別履修要件表の各ゾーンに設定されている単位数をそれぞれクリアすることが必要です。したがって、必修科目を表記している◎のゾーンについては、計画的に履修してください。

ゾーンの修了については、以下のコースの修了に関係しています。**コースを修了するためには、各ゾーンに設定された単位数をすべてクリアしないといけません。**ただし、コースの修了を必要としないコースについては、必ずしも各ゾーン(◎のゾーンを含む。)に設定された単位数をクリアする必要はありません。

(4) コース行及びコースの修了について

コース行については、当該の単一のコースを修了するために必要な単位数を表記しています。

ある1つのコースを修了するためには、**所定のゾーンの単位数をクリア**した上、学生別履修要件表のコース行に設定されている単位数をクリアすることが必要です。

なお、**網掛けを付しているコースについては、必修であることを意味しています。**

Q: コースを修了する単位数ですか?

A: コース行については、例えば、ハングル発展コースのコース行に「10-」と記述されていたら、ハングル発展コースを修了するためには、◎の授業科目の8単位を含めて、最低10単位以上の単位を修得しないといけません。

Q: 単位数の設定されていないコースを選択することができますか?

A: コース行において、単位数を設定していないコースについては、選択することはできません。もちろん、単位数の設定されていないコースの◎や○の付いている授業科目の単位を修得したとしても、卒業に必要な単位数に算入されませんので、留意してください。

(5) ブロック行及びブロックの修了について

ブロック行については、複数のコースを指定した当該のブロックを修了するために必要な単位数等を表記しています。

ある1つのブロックを修了するためには、学生別履修要件表のブロック行に設定されている単位数をクリアすることを必要としています。ブロックを構成するコースについては、基本的に所定のコースの修了を必要としませんが、**ブロック行にコース数を指定する場合及びコース行に網掛けを付している場合には、コースを修了することも必要となります。**

なお、**網掛けを付しているブロックについては、必修であることを意味しています。**

Q：ブロックを修了する単位数ですか？

A：ブロック行については、2つのパターンにより単位数等を定めています。

1つは、コースA、B及びCから成るブロックにおいて、そのブロック行に「6-」と記述されていたら、そのブロックを修了するためには、**コースA、B及びCの授業科目から、6単位以上の単位を修得しない**といけません。この場合には、必ずしもいずれかのコースを修了する必要はありません。もう1つは、コースA、B及びCから成るブロックにおいて、「1コース6単位」と記述されていたら、**コースA、B及びCのいずれかの1つのコース修了要件を満たし、6単位以上の単位を修得しない**といけません。この場合には、選択した1つのコースを修了しないといけません。

Q：ブロックにおける単位の数え方は？

A：複数のコースから成るブロックにおいて、ある1つの授業科目について、複数のコースに○付けされている場合には、その授業科目の単位の修得により、**どちらのコースにも、単位を数えることができますが、ブロック要件の単位数においては、その授業科目分の単位数しか数えることはできません。**

(6) 卒業要件総単位数及びコースカリキュラムの修了について

卒業要件総単位数については、学生区分に指定された学生が、卒業に必要な総単位数を表示しています。卒業要件総単位数とは、卒業に必要な単位として認められる授業科目の中から、単位を修得した授業科目の単位数の合計により算出されます。

コースカリキュラムを修了するためには、卒業要件総単位数をクリアし、必修となっているそれぞれのブロック及びコースをすべてクリアすることによって、コースカリキュラムを修了することができます。

Q：卒業要件総単位数とは、単純に修得した授業科目の単位数の合計でいいの？

A：単位を修得した授業科目であっても、卒業要件に必要な単位として認められる授業科目でなくてはなりません。つまり、◎や○の付いていない授業科目及び選択することができない履修コースの◎や○の授業科目の単位数については、それに含めることはできないわけです。

ある1つの授業科目について、複数のコースに○付けされている場合には、どのように単位数を数えるのでしょうか？例えば、コースA及びコースBいずれのコースにおいても、○の付いている授業科目の「哲学」2単位を修得しました。このような場合には、「哲学」の単位については、**コースA及びコースBいずれのコースにも、それぞれ2単位ずつコースを修了するために必要な単位に数えることができますが、卒業要件総単位数においては、1つの授業科目分の2単位しか数えることはできません。**

(7) コースカリキュラムを履修していくための手順について

コースカリキュラムについては、コースカリキュラム・マトリックス表を注意深く確認しながら、自分自身がどのように履修し、単位を修得していくのかを発見していくことが要求されます。ここまで、コースカリキュラムのことを説明していましたが、最後にまとめとして、コースカリキュラムを履修していくための方法として、以下の手順を示しておきましょう。



コースカリキュラムを履修していくための手順

- ① まず、学生別履修要件表において、学生のみなさん一人一人に適用される学生区分を探してください。
- ② 自分自身の学生区分を確認したら、該当する学生区分の単位数の記載のあるコースやブロックを確認してください。
- ③ 確認したコースやブロックの中から、履修するコースやブロックを選択して、コースマトリックス表において、**選択したコースやブロックを構成している丸付けされた授業科目や単位数等**を確認してください。
- ④ 確認した授業科目の中から、共通教育授業時間割や共通教育シラバスを参照にしながら、履修計画をたててください。
- ⑤ このような手順を何度も繰り返しながら、学生別履修要件表に設定されている**それぞれのコースやブロックの単位数をクリア**するように、授業科目を選択していきます。
- ⑥ 最終的には、学生別履修要件表に設定されている**必修のコース及びブロックの単位数及び卒業要件総単位数をクリア**しているか、確認することになります。





IV. 共通教育科目の履修上の注意

1 履修科目の登録の上限について

(1) 履修科目の登録の上限とは

履修科目の登録の上限とは、前期または後期において、履修登録できる授業科目の総単位数に上限を設定することをいいます。履修登録の上限を設定することは、前期または後期において、履修登録できる授業科目数を制限することによって、学生みなさんに無理な負担を強いることなく、十分な学修効果をあげる学習環境をつくることを目的としています。

なお、履修科目の登録の上限については、所属する学部や学科等により異なりますので、履修届を記入する際には、以下を参照にしながら、上限の単位数を超えないように、履修登録をしないといたしません。

学 部	学 科 ・ 課 程	履 修 制 限		備 考
		前 期	後 期	
人文学部	すべての学科	26単位	26単位	
教育学部	すべての課程・コース	26単位	26単位	
経済学部	すべての学科・課程	26単位	26単位	
理学部	すべての学科	26単位	26単位	
医学部	医 学 科	30単位	30単位	
	保 健 学 科	25単位	25単位	
工学部	すべての学科	－ 単位	－ 単位	
農学部	生物資源環境科学科	22単位	24単位	推奨単位数
	生物機能科学科	24単位	24単位	//
	獣 医 学 科	30単位	30単位	//

(2) 上限の単位数に含まれない授業科目

履修科目の登録の上限の単位数に含まれない授業科目については、所属する学部により異なりますので、所属する学部の教務担当係の指導に従ってください。

なお、共通教育科目においては、履修科目の登録の上限の単位数に含まれない授業科目については、以下のとおりです。



上限単位数に含まれない授業科目

- ① 理科基礎系授業科目の基礎の授業科目（「数学入門1」、「物理学入門2」等の授業科目）
- ② 前期または後期クォーター2における「TOEIC指導」の単位（1単位）
- ③ 単位認定された授業科目（既修得単位認定、TOEICによる単位認定等された授業科目）
- ④ その他、共通教育科目における卒業に必要な単位数に算入されない授業科目

2 英語の履修について

(1) 英語のカリキュラムについて

英語によるコミュニケーションを行うということは、グローバル化の時代と言われる21世紀を生きる学生のみならず、必要不可欠なものになっています。

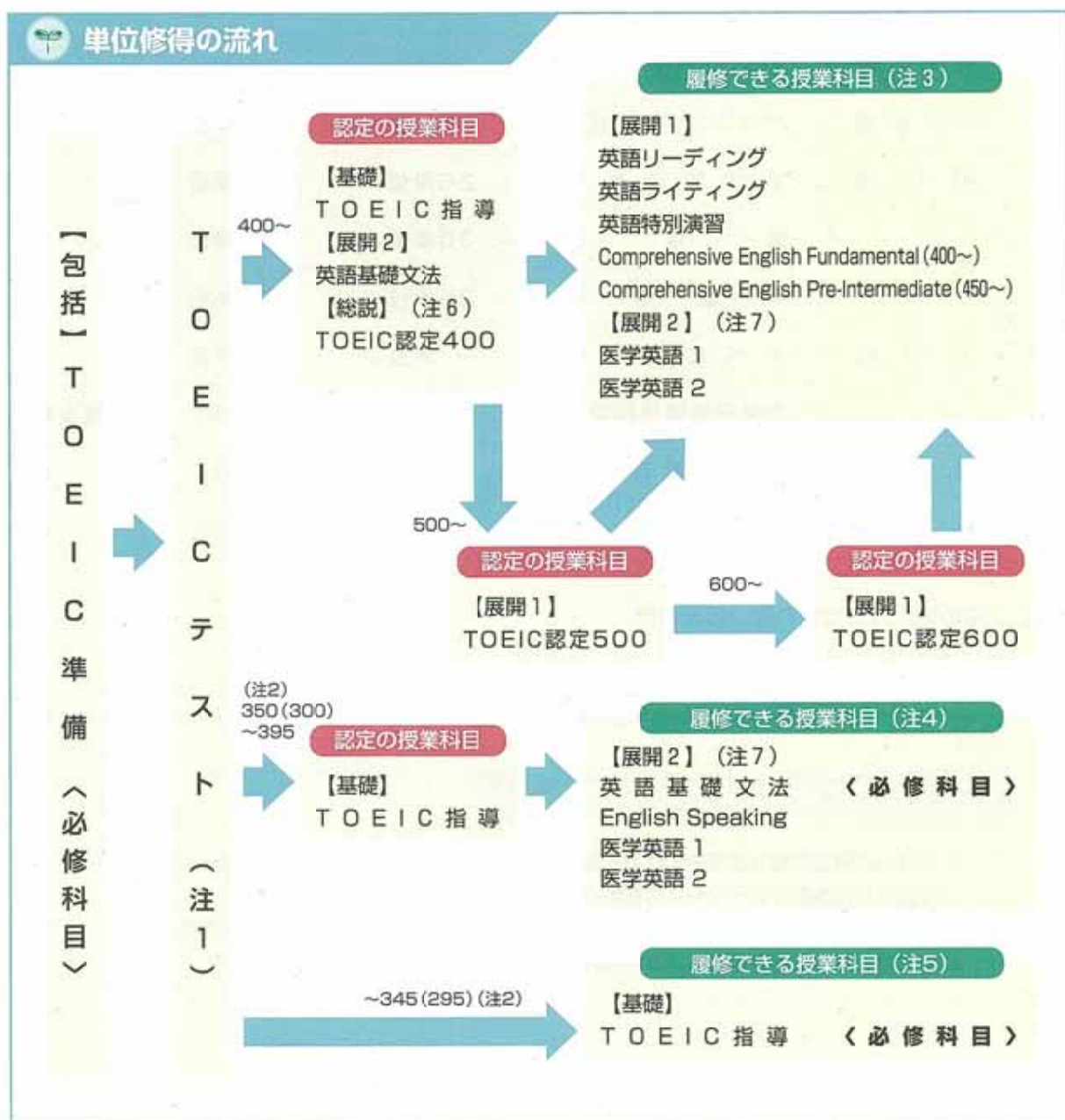
本学の英語のカリキュラムについては、英語の実用能力の養成を基本として、そのベースの上に特殊な技能の修得を目指すカリキュラムとなっています。その実用能力を測るための1つの尺度として、TOEICという国際的に権威のある英語コミュニケーション能力をプレースメント・テストとして用い、そのスコアに基づいて、それぞれの能力に応じた段階的な能力別少人数クラスの授業を開設しています。

(2) 単位修得の流れ

英語のカリキュラムにおける単位修得の流れについては、以下のとおりです。

まず、学生のみなさんは、TOEICテストに向けての準備を行いますので、前期クォーター1において、指定されたクラスの「TOEIC準備」を履修し、受験を義務付けられている6月上旬のTOEICテストを受験してください。

「TOEIC準備」(必修科目)の単位については、TOEICスコアとは関係なく、授業態度と課題の成果に基づき評価し、単位を授与します。



(注1) TOEICテストについては、6月上旬及び8月上旬に実施されます。後期については、経済学部TOEIC実行委員会実施のTOEICテストを受験してください。日程及び受験手続については、掲示等により指示します。

なお、TOEICテストの受験料については、学生の自己負担となっています。

(注2) 「TOEIC指導」の認定基準については、所属する学部及び学科等により異なりますので、以下の(3)「TOEIC指導」の認定基準を参照してください。

(注3) TOEICのスコアが400点に到達した学生については、展開1の授業科目から選択して、履修してください。

(注4) 「英語基礎文法」を履修中の学生であって、TOEICテストを受験し、TOEICのスコアが400点に到達した学生については、学務課共通教育係に「TOEICによる共通教育単位認定申請書」を提出することにより、「英語基礎文法」の単位を認定します。

(注5) TOEICのスコアが350(300)点未満の学生については、「TOEIC指導」の認定基準に到達するまで、「TOEIC指導」を繰り返し履修しないといけません。

(注6) 「TOEIC認定400」については、人文学部言語文化学科(英米語文化論コース)、教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース(英語教育選修)・国際理解教育コース、経済学部、医学部及び農学部獣医学科にあっては、必修科目となっていますので、400点に到達できるように、学習に励んでください。

(注7) 医学部医学科にあっては、展開2の必修科目として、「医学英語1」及び「医学英語2」を開設しています。

(3) 「TOEIC指導」の認定基準について

「TOEIC指導」の認定基準については、以下のとおりです。「TOEIC指導」については、必修科目です。したがって、TOEICテストにおいて、以下の認定基準スコアに到達しなければ、卒業することはできません。

学 部 等		認定基準スコア	備 考
人 文 学 部		350点	言語文化学科(英米語文化論コース)の、卒業に必要なTOEICスコア:400点
教 育 学 部		300点	教科教育コース(英語教育選修)・国際理解教育コースの、卒業に必要なTOEICスコア:400点
経 済 学 部		350点	卒業に必要なTOEICスコア:400点
理 学 部	数 理 科 学 科	300点	
	自 然 情 報 科 学 科	300点	
	化 学 ・ 地 球 科 学 科	350点	
医 学 部		350点	卒業に必要なTOEICスコア:400点
工 学 部	昼 間 コ ー ス	350点	
	夜 間 主 コ ー ス	300点	
農 学 部	生 物 資 源 環 境 科 学 科	300点	
	生 物 機 能 科 学 科	350点	
	獣 医 学 科	350点	2年次進級に必要なTOEICスコア:400点

(4) 「TOEIC指導」の対象学生について

「TOEIC指導」については、「TOEIC指導A」及び「TOEIC指導B」の2種類の講義を開設しています。「TOEIC指導A」については、「TOEIC指導」の認定基準が350点の学部等に所属する学生を対象としています。また、「TOEIC指導B」については、「TOEIC指導」の認定基準が300点の学部等に所属する学生を対象としています。

(5) 「TOEIC指導」の履修について

「TOEIC指導」の履修については、各クォーター開始直前までのTOEICテストのスコアにより、クラス振り分けを行いますので、配属されたクラスを掲示等により確認し、履修してください。ただし、シラバスを読んで、受講したいクラスを申し出た学生については、クラス変更を認めます。

なお、前期または後期クォーター2の「TOEIC指導」については、前期または後期の学期の始めに提出する履修届に記入する必要はありません。また、当該の単位数については、履修科目の登録の上限単位数に含まれません。

(6) TOEICによる単位認定の取り扱いについて

TOEICによる単位認定を申請する学生については、TOEICのスコアシートを学務課共通教育係に持参し、「TOEICによる共通教育単位認定申請書」を記入して、申請してください。TOEICのスコアにより、以下の(7) TOEICスコア別の認定授業科目のとおり認定されます。ただし、1年次の前期においては、「TOEICによる共通教育単位認定申請書」を提出する必要はありません。

なお、単位認定された授業科目の単位については、申請した学期の単位として認定されます。したがって、展開1及び展開2の授業科目については、申請した学期の翌学期から履修することができます。

Q：TOEICによる単位認定と履修科目の上限との関係は？

A：TOEICによる単位認定にあつては、履修届により履修登録していない授業科目の認定単位数については、履修科目の登録の上限に含まれません。例えば、1年次の前期において、TOEICスコア430点により、「英語基礎文法」の単位を認定された場合には、履修登録によらず、単位認定により修得した2単位ですので、その認定単位数により履修科目の登録の上限単位数を超えたとしても、卒業に必要な単位に算入することができます。

(7) TOEICスコア別の認定授業科目

TOEICのスコア別の認定授業科目については、以下のとおりです。ただし、単位認定申請の際に「TOEIC指導」を履修している場合には、「TOEIC指導」の単位については、単位認定によらず、それぞれの担当教員が成績評価を行います。

分野	授業科目	設置	科目類型	単位数	認定条件スコア
英語	TOEIC指導	共通	基礎	1	350(300)以上
	英語基礎文法	共通	展開2	2	400以上
	TOEIC認定400	共通	総説	0	400以上
	TOEIC認定500 (TOEFL450)	共通	展開1	2	500以上
	TOEIC認定600 (TOEFL500)	共通	展開1	2	600以上

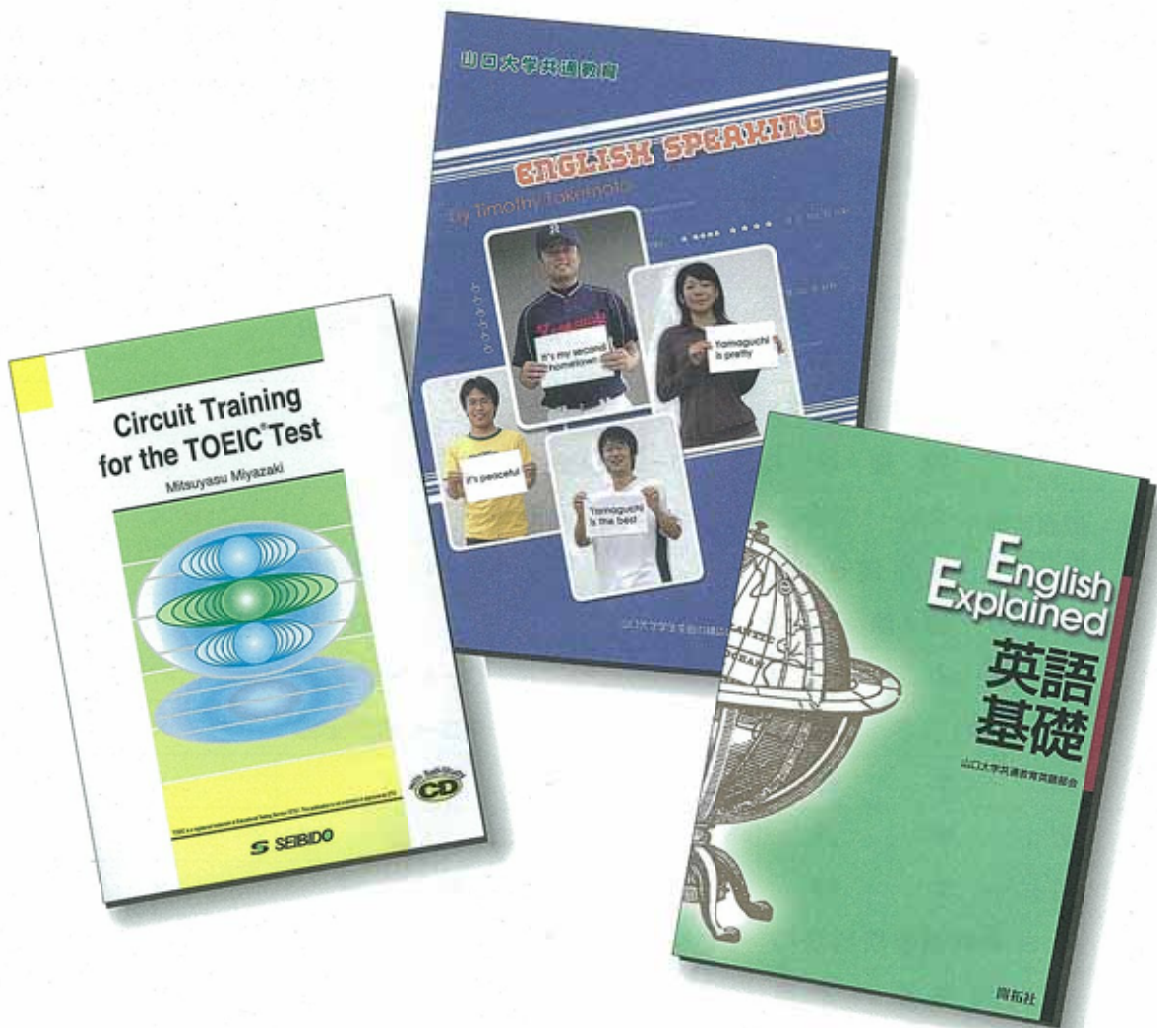
(8) TOEFLの換算について

TOEFLを受験した学生については、TOEFLのスコアシートを添付し申請することにより、TOEICのスコアに換算して、以下の授業科目の単位を認定することができます。詳細については、学務課共通教育係に問い合わせてください。

分野	授業科目	設置	科目類型	単位数	認定条件スコア	
					TOEFL	C B T
英語	TOEIC認定400	共通	総説	0	435	120
	TOEIC認定500 (TOEFL450)	共通	展開1	2	450	130
	TOEIC認定600 (TOEFL500)	共通	展開1	2	500	173

(9) 授業時間外の学習について

英語の授業科目の単位の評価については、TOEICのスコアや定期試験の成績により厳格に行われます。また、それぞれの授業においても、相当量の課題が提示されます。したがって、単位を修得するためには、授業時間外の学習が不可欠となります。また、TOEICのスコアのアップを目指したり、英語の能力を高めるためには、単に授業を受けるだけではなく、授業時間外の学習を怠らないように努めないといけません。



3 初習外国語の履修について

(1) 初習外国語のコース設定について

本学の初習外国語については、ドイツ語、フランス語、中国語及びハングルが開設され、それぞれの外国語について、入門コース、基本コース及び発展コースの3コースが、設定されています。

なお、それぞれのコースの概要については、以下のとおりです。

入門コース	それぞれの外国語の初歩を学習するためのコースです。1つの外国語の入門の授業を週1コマ受講し、前期2単位及び後期2単位の計4単位を修得し、修了するコースです。
基本コース	それぞれの外国語の基礎をひとつとおり学習するためのコースです。1つの外国語の初級の授業を週2コマ受講し、前期4単位及び後期4単位の計8単位を修得し、修了するコースです。
発展コース	それぞれの外国語の基礎をひとつとおり学習するだけでなく、さらにその外国語の運用能力を発展学習するためのコースです。1つの外国語の初級の授業を週2コマ受講し、前期4単位及び後期4単位の計8単位を修得して、さらに当該コースの他の授業科目を2単位以上修得し、修了するコースです。

(2) 学部別の初習外国語の履修コースについて

初習外国語の履修については、各学部の履修の手引きに掲載されているコースカリキュラム・マトリックス表及び以下の一覧表を参照して、履修してください。

学 部 等			入門コース	基本コース	発展コース	備考
人 文 学 部			×	1コース選択必修	0~1コース選択	(注1)
教 育 学 部	学校教育 教員養成 課程	教科教育	数学	1コース選択必修	×	×
			美術	1コース選択必修		
		国際理解教育		1コース選択必修		×
		上記以外のコース		0~1コース選択		
	実践臨床教育課程		0~1コース選択			
	情報科学 教育課程	表現情報処理		0~1コース選択	×	×
		数理情報		1コース選択必修	×	×
	健康科学 教育課程	スポーツ健康科学		0~1コース選択	×	×
		生活健康科学		0~1コース選択		
	総合文化 教育課程	国際文化		×	0~1コース選択	
文芸・芸能		0~1コース選択				
経 済 学 部			×	1コース選択必修	×	
理 学 部			0~1コース選択	×	×	
医 学 部			1コース選択必修	×	×	
工 学 部			0~1コース選択		×	(注2)
農 学 部	生物資源環境科学科		0~1コース選択	×	×	
	生物機能科学科		1コース選択必修	×	×	
	獣医学科		0~1コース選択	×	×	

(注1) 人文学部における初習外国語については、最大16単位まで卒業に必要な単位に算入できます。このうちの8単位については、**基本コースから1か国語を選択して、必ず修了しないといけません。**

また、必修の8単位を超える部分については、選択した基本コースと同一外国語の発展コースを履修する方法、選択した基本コースと別の外国語の基本コースを履修する方法、放送大学開講のスペイン語またはロシア語を履修する方法、以上の3つの方法から選択または組み合わせ、単位を修得してください。

(注2) 工学部における初習外国語については、『工系教養コース』の単位に算入されますので、各外国語の入門コース及び基本コースともに履修することができます。ただし、**中国語については、中国語入門コース及び中国語基本コースを併行して履修することはできません。**

なお、『東洋文化と技術Aコース』を修了するためには、中国語基本コースを、『東洋文化と技術Bコース』を修了するためには、ハングル基本コースを、『西洋文化と技術Aコース』を修了するためには、ドイツ語基本コースを、『西洋文化と技術Bコース』を修了するためには、フランス語基本コースを、それぞれ修了しないといけません。

(3) 通年履修の原則について

初習外国語の履修にあたっては、1年間を通して、同一の曜日・時限・担当教員のクラスにおいて、履修することを原則としています。後期に開講する授業科目については、それぞれ前期に開講されたクラスを履修していることを前提として、授業を行いますので、初習外国語を履修する場合には、前期から通年履修することが必要となります。

なお、ドイツ語、フランス語及びハングルにあつては、やむを得ない事由がある場合には、後期からのクラス変更を認めることがあります。ただし、中国語にあつては、前期及び後期ともに、同一の曜日・時限・担当教員のクラスにおいて、受講しないといけません。**後期からのクラス変更については、認められません。**

(4) 基本コースの履修について

ドイツ語、フランス語及びハングルについては、同一の担当教員により開講されている週2回の授業を併せて履修してください。ただし、山田教員が担当する『ハングル初級1』及び『ハングル初級2』については、**(水曜日3・4時限-木曜日1・2時限)**または**(水曜日5・6時限-木曜日3・4時限)**のいずれかの組み合わせを選択して、履修してください。

また、中国語については、前期にあつては、『中国語初級1a』及び『中国語初級1b』、後期にあつては、『中国語初級2a』及び『中国語初級2b』を併せて履修してください。それぞれの学期において、**いずれか一方のみを履修することはできません。**

(5) 発展コースの履修について

発展コースにおける各外国語の展開1の授業科目については、**同一分野の総説の授業科目の単位をすべて修得した学生(基本コース修了した学生)**に限られます。

また、発展コースにおける各外国語の展開2の授業科目については、**1年次から履修することができます。**特に、『中国語初級会話1』及び『中国語初級会話2』については、1年次に履修することが望ましい授業科目です。

(6) ドイツ語の受講定員について

『ドイツ語入門1』、『ドイツ語入門2』、『ドイツ語初級1』及び『ドイツ語初級2』の受講定員については、それぞれ**40名**となっています。

なお、定員を上回るクラスについては、初回の授業において、選抜を行いますので、必ず出席してください。

(7) フランス語の受講定員について

『フランス語入門1』、『フランス語入門2』、『フランス語初級1』及び『フランス語初級2』の受講定員については、それぞれ**50名**となっています。

なお、定員を上回るクラスについては、初回の授業において、抽選を行いますので、必ず出席してください。

(8) 中国語の受講定員について

「中国語入門1」及び「中国語入門2」の受講定員については、それぞれ**50名**となっています。また、「中国語初級1a」、「中国語初級1b」、「中国語初級2a」及び「中国語初級2b」の受講定員については、それぞれ**30名**となっています。

なお、定員を上回るクラスについては、初回の授業において、抽選を行いますので、必ず出席してください。

Q：抽選に外れてしまいましたが、中国語の授業を履修できませんか？

A：近年、初習外国語の中で、中国語を選択する学生さんが、増えてきています。それに対応するために、中国語の開設科目数を増やしてきていますが、それでもクラスの定員を超過して、抽選となる傾向にあります。したがって、授業開始から1週間経過して、すべての中国語のクラスの抽選が終了しても、中国語のクラスが決まらない学生さんもいます。その場合には、履修計画を最初から組み直さないといけなくなりますよね？

しかし、安心してください。そのような学生さんに対応するために、中国語を担当する先生方が、**履修相談日**を設定してくれていますので、必ず出席して、アドバイスを受けましょう。きっと、学生のみなさんの履修に適した中国語のクラスを探してもらえるはずですよ。

なお、履修相談日の日程等については、掲示を確認してくださいね。

(9) ハングルの受講定員について

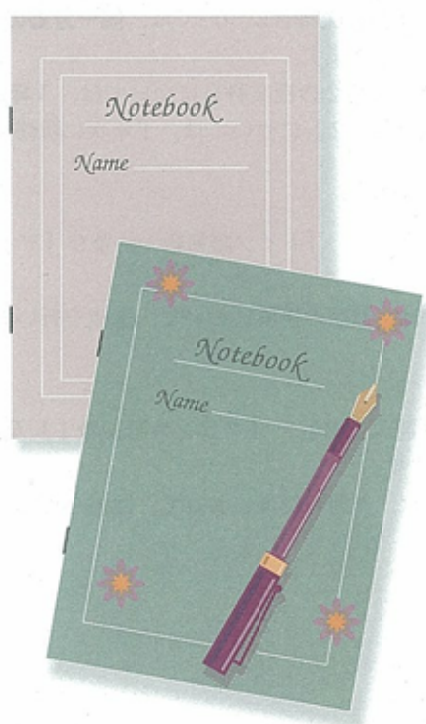
「ハングル入門1」、「ハングル入門2」、「ハングル初級1」及び「ハングル初級2」の受講定員については、それぞれ**50名**となっています。

なお、定員を上回るクラスについては、初回の授業において、抽選を行いますので、必ず出席してください。

(10) 外国人留学生等の履修について

所属する学部によっては、外国人留学生については、初習外国語の1つのコースとして、日本語のコースを選択できる学部があります。日本語のコースの単位設定等については、所属する学部等により異なりますので、各学部の履修の手引きに掲載されているコースカリキュラム・マトリックス表を参照して、履修してください。

なお、中国語を主な使用言語とする外国人留学生及び中国語使用圏にて多年にわたり中国語による教育を受けた学生(日本人学生を含む。)については、中国語の授業科目を履修できません。



4 理科基礎系授業科目の履修について

(1) プレースメント・テストについて

以下の理科基礎系授業科目については、プレースメント・テストを実施して、その結果に基づいて、それぞれの授業科目の履修対象者を判定します。

プレースメント・テストとは、山口大学入学者選抜試験において、受験しなかった教科及び科目に関する基礎知識及び学力を判定するテストです。教育学部、理学部、医学部、工学部及び農学部において、以下の総説の授業科目を履修するためには、それぞれの分野の基礎知識の判定のため、**受験免除要件に該当しない学生については、プレースメント・テストを受験しないとできません。**

なお、プレースメント・テストの結果の発表については、掲示により行いますが、発表日時等については、プレースメント・テスト当日に指示します。

分野	授 業 科 目		受 験 免 除 要 件
	基 礎	総 説	
数 学	数 学 入 門 1	数 学 I	本学個別学力検査の「数学(理系)」を受験した学生
	数 学 入 門 2	数 学 II	
物 理 学	物 理 学 入 門 1	物 理 学 I	大学入試センター試験の「物理」を受験した学生
	物 理 学 入 門 2	物 理 学 II	
化 学	化 学 入 門 1	化 学 I	大学入試センター試験の「化学」を受験した学生
	化 学 入 門 2	化 学 II	
生 物 学	生 物 学 入 門 1	生 物 学 I	大学入試センター試験の「生物」を受験した学生
	生 物 学 入 門 2	生 物 学 II	

(2) 基礎の授業科目について

プレースメント・テストによって、基礎学力が不十分であると判定された場合には、総説の授業科目の履修を希望する学生については、**最初に基礎の授業科目を履修**してください。基礎の授業科目については、それぞれの分野の総説の授業科目を学習するために必要な基礎能力の養成を目的として、高等学校レベルの学習内容を再教育することによって、大学入学までに修得すべき知識を補強するための授業科目です。したがって、**基礎の授業科目の単位については、卒業に必要な単位に算入されません**ので、留意してください。

なお、総説の授業科目の履修を希望しなくても、基礎の授業科目のみ履修することもできます。また、プレースメント・テストに合格した学生や受験免除要件に該当した学生についても、基礎の授業科目の履修を希望する場合には、担当教員の判断により履修することができます。

(3) 総説の授業科目の履修について

プレースメント・テストに合格した学生や受験免除要件に該当した学生については、1年次の前期から総説の授業科目を履修することができます。

プレースメント・テストによって、基礎学力が不十分であると判定された場合には、**前期に開講される基礎の授業科目を履修し、単位を修得しなければ、当該分野の総説の授業科目を履修することはできません**。基礎の授業科目の単位を修得すれば、翌学期から、総説の授業科目を履修することができます。

なお、後期に開講されている「物理学Ⅰ」については、前期に開講されている「物理学入門1」及び「物理学入門2」の単位を修得した学生を対象とし、また、後期に開講されている「化学Ⅰ」については、前期に開講されている「化学入門1」及び「化学入門2」の単位を修得した学生を対象とします。

5 実験系授業科目の履修について

(1) 「自然科学実験」について

「自然科学実験」については、文系学部の学生を対象として、物理学、化学、生物学及び地球科学のそれぞれ分野の基礎的な実験を行い、自然現象の見方や法則性の理解を深めることを目的として、**後期の木曜日 5～8 時限**に開設されています。それぞれの分野の担当教員が、それぞれ3週間にわたって、担当することになっています。

なお、平成17年度については、開講されませんので、留意してください。

(2) 「自然科学実験」以外の実験系授業科目の履修について

「自然科学実験」以外の実験系授業科目の履修については、各学部の履修の手引きに掲載されているコースカリキュラム・マトリックス表及び以下の一覧表を参照して、履修してください。

学期	曜日	時限	授業科目	対象学生等(クラス)
前期	月	7～10	物理学実験B	○機械, ○知能, ○機材, ○検査, ○看護
			化学実験B	○機械, ○機材, ○検査, ○看護
前期	火	7～10	物理学実験A	○自然, ●化地, ○獣医
			化学実験A	○自然, ○生資, ○獣医
			生物学実験	○自然
前期	木	5～8	物理学実験A	○自然, ●化地, ○生資
			物理学実験B	○医学
			化学実験A	●化地, ○生機
			化学実験B	○医学
			生物学実験	○自然
			地球科学実験	○自然, ○獣医
前期	金	5～8	物理学実験B	○電気, ○応化, ○社建
			化学実験B	○電気, ○応化, ○社建
			生物学実験	○生資
後期	木	5～8	地球科学実験	●化地(地球)
	金	5～8	生物学実験	○生機
○獣医				

(注) 対象学生等において、学科等の略表記(49ページ参照)に付した記号については、以下のとおりです。

○：当該授業科目を必修科目とする学科等

●：当該授業科目を選択必修科目とするが、履修することが望ましい科目とする学科等

○：当該授業科目を選択必修科目とする学科等

(3) 実験オリエンテーションについて

授業科目によっては、各学期の授業開始前等において、実験オリエンテーションを行うことがありますので、履修を希望する学生については、必ず出席してください。詳細については、共通教育掲示板に掲示しますので、見落とし等のないように留意してください。

なお、このオリエンテーションに出席していない学生については、当該授業科目の履修を認めないことがあります。

(4) 実験に必要な費用について

実験に必要な費用については、その一部を学生に負担させることがあります。

6 運動健康科学及びスポーツ運動実習の履修について

(1) 「運動健康科学」の履修について

「運動健康科学」を必修とする教育学部及び経済学部商業教員養成課程の学生については、学年及びクラス指定された曜日及び時限に履修してください。また、工学部1年次の学生についても、クラス指定された曜日及び時限に履修してください。

また、「運動健康科学」を選択科目の単位として履修する学生、教育職員免許状取得のために履修する学生、再履修の学生(工学部の1年次の学生を含む。)については、以下の曜日及び時限に履修してください。ただし、商業教員養成課程を除く経済学部の学生については、卒業に必要な単位に算入されません。

後期 火曜日5・6時限、水曜日3・4時限 (人・理・医・農クラス)

(2) 「スポーツ運動実習」の履修について

「スポーツ運動実習」を必修とする教育学部及び経済学部商業教員養成課程の学生については、学年及びクラス指定された曜日及び時限に履修してください。

また、「スポーツ運動実習」を選択科目の単位として履修する学生、教育職員免許状取得のために履修する学生、再履修の学生については、以下の曜日及び時限に履修してください。ただし、商業教員養成課程を除く経済学部の学生については、卒業に必要な単位に算入されません。

前期 水曜日1・2時限、木曜日1・2時限

後期 水曜日1・2時限、木曜日1・2時限

(3) 選択種目の決定について

「スポーツ運動実習」を履修する学生は、**各学期の第1週目の授業**において、選択種目及び担当教員を決定しますので、**第1体育館**に必ず集合してください。

なお、履修希望者多数の場合には、抽選等により履修制限を行います。

(4) 履修届の記入について

「スポーツ運動実習」については、選択した種目名及び担当教員まで、履修届に正確に記入してください。特に、コードの書き間違いについては、留意してください。

(5) 積み上げ履修について

「スポーツ運動実習」については、積み上げ履修可能な授業科目です。ただし、履修希望者多数の場合には、単位未修得の学生の履修を優先するために、履修できないことがあります。

なお、所属する学部によっては、「スポーツ運動実習」の積み上げ履修を認められていない学部がありますので、各学部の履修の手引きを確認してください。

7 フレッシュマン・セミナー(新入生合宿)について

(1) フレッシュマンセミナー(新入生合宿)について

「フレッシュマンセミナー(新入生合宿)」とは、集団生活を通して、新入生同士、新入生と教職員あるいは新入生と上級学生の交流を主体として、1日でも早く本学に慣れ、大学生活を円滑に過ごすことができるためのガイダンスを行うことを目的として実施される授業科目です。

なお、「フレッシュマンセミナー(新入生合宿)」については、必修科目となっていますので、欠席した学生については、卒業することができません。ただし、やむを得ない事由により欠席した学生については、相当分の授業またはレポート等を課されることがあります。

(2) 開講時期等について

「フレッシュマンセミナー(新入生合宿)」の開講時期やスケジュールについては、所属する学部により異なりますので、所属する学部の教務担当係の指示に従って、必ず参加してください。

8 日本語・日本事情の履修について

(1) 「日本語」及び「日本事情」について

共通教育科目にあっては、外国人留学生のための授業科目として、「日本語」及び「日本事情」を開設しています。「日本語」及び「日本事情」の修得した単位数の取り扱い等については、所属する学部により異なりますので、各学部の履修の手引きに掲載されているコースカリキュラム・マトリックス表を参照して、履修してください。

なお、「日本語」については、聞く・書く・話す・読むの高度な四技能を養成するための授業科目で、学部や大学院における日本語による授業を理解し、授業における質問や発表、レポート作成等の教室活動に参加できる日本語能力を養成します。また、「日本事情」については、日本の文化及び社会を理解するための授業科目です。

(2) 「日本語」及び「日本事情」の履修について

「日本語」及び「日本事情」の履修を希望する外国人留学生については、**前期または後期始めに実施する山口大学日本語能力テストを受験してください。**みなさんの履修するクラスについては、当該テストの成績、日本語能力試験(日本国際教育協会、国際交流基金主催)の成績、過去の日本語学習歴等により決定されます。山口大学日本語能力テストを受験しなかった場合には、「日本語」及び「日本事情」の授業の履修を認めないことがあります。

なお、「日本語」及び「日本事情」については、同じ授業科目名であっても、担当教員により使用するテキストや授業内容が異なりますので、積み上げ履修可能な授業科目となっています。したがって、各授業科目の上限の単位数まで、卒業に必要な単位に算入することができます。

(3) 山口大学日本語能力テストについて

山口大学国際センターにおいては、独自の日本語能力テストの作成を目指して、試行的に山口大学日本語能力テストを実施しています。1年に2回ほど実施していますが、前期または後期の始めのテストについては、「日本語」及び「日本事情」クラス分けの資料となります。

なお、日本語能力テストの結果については、みなさんの指導教員に通知されます。将来的には、大学院進学や奨学金申請の添付資料として、活用することも検討されています。

9 教育職員免許状について

(1) 教育職員免許状取得に必要な共通教育科目

教育職員免許状の取得を希望する学生は、所属する学部を問わず、以下の共通教育科目の単位を修得する必要があります。

なお、以下の教育職員免許状取得に必要な共通教育科目については、履修科目の登録の上限の単位数に含まれますので、以下の授業科目については、上限の単位数を超えて、履修することはできません。



教育職員免許状取得に必要な共通教育科目

① 日本国憲法	2 単位
② 運動健康科学	2 単位
③ スポーツ運動実習	1 単位
④ 英語基礎文法	2 単位 (注)
⑤ 情報処理演習	2 単位

(注) 外国語コミュニケーションとして、以下のいずれかの授業科目を履修することが望ましい。

【English Speaking】

【Comprehensive English Fundamental】

【Comprehensive English Pre-Intermediate】

(2) 教育職員免許状に関する問い合わせ

教育職員免許状については、所属する学部により取得できる免許状の種類や教科が異なりますので、詳細については、所属する学部の教務担当係に問い合わせてください。

Q：教育職員免許状を取得したいのですが？

A：教育職員免許状については、免許状の種類(小学校や中学校等)や教科(数学や英語等)により区分されています。教員免許を取得する学生のみなさんは、所属する学部において開設されている教職科目(教科に関する科目と教職に関する科目とがあります。)について、共通教育科目や専門科目以外に単位を修得しないといけません。そして、3年次または4年次において、「教育実習」を行います。また、小学校または中学校の教育職員免許状の取得を希望する学生のみなさんは、「介護等の体験実習」も必要となります。教育学部及び経済学部商業教員養成課程を除く学部等に所属する学生のみなさんは、教職科目等の単位については、卒業に必要な単位に算入されませんので、1年次からの計画的な履修を心がけるとともに、相当の覚悟と努力が必要となります。





V.学外における授業科目の履修等について

1 既修得単位の認定について

(1) 既修得単位認定制度とは

他大学または短期大学、大学以外の教育施設(放送大学等)において、修得した単位及び資格について、既修得単位認定の希望者からの申請により、本学における審査に基づき、その修得単位のうち60単位を最大として、本学における修得単位として認定する制度です。

(2) 既修得単位認定の申請

既修得単位認定の希望者については、**既修得単位認定申請書(所定の様式)に成績証明書1部及び講義要項等の写しを添付し**、所属する学部の教務担当係に申請してください。

2 放送大学の授業科目の履修について

(1) 放送大学との単位互換

山口大学と放送大学との単位互換協定に基づき、放送大学の授業を履修して、単位認定試験により単位を修得すれば、本学における卒業に必要な単位(共通教育科目または専門科目)として認定することができます。

(2) 放送大学の授業科目の履修について

平成17年度・第2学期(平成17年10月1日(土)～平成18年3月31日(金))における放送大学の授業科目受講に関する概要については、以下のとおりです。また、放送大学の資料等については、学務課共通教育係にありますので、参照してください。

出願手続

詳細については、掲示によりお知らせします。

受付期間：平成17年6月15日(水)～平成17年8月31日(水)

学費

授業料：1科目(2単位)あたり、10,000円(入学料については、免除。)

履修方法

C/Sデジタル放送の視聴、カセットテープ・教科書による通信指導

認定試験

小野田市の山口学習センターにおいて、以下の期間に実施されますが、授業科目によっては、山口大学の学期末定期試験と日程が重複することがあります。

試験期間：平成18年1月22日(日)～平成18年1月28日(土)

なお、平成18年度・第1学期以降については、掲示を留意してください。

(3) 放送大学の授業科目の履修に関する問い合わせ

履修できる授業科目及び修得できる単位数については、所属する学部により異なりますので、放送大学の授業科目の履修を希望する学生については、事前に所属する学部の教務担当係に問い合わせてください。

3 山口県立大学の授業科目の履修について

(1) 山口県立大学との単位互換

山口大学と山口県立大学との単位互換協定に基づき、山口県立大学の授業を履修して、学期末定期試験により単位を修得すれば、本学における卒業に必要な単位(共通教育科目または専門科目)として認定することができます。

(2) 山口県立大学の授業科目の履修に関する問い合わせ

履修できる授業科目及び修得できる単位数については、所属する学部により異なりますので、山口県立大学の授業科目の履修を希望する学生については、事前に所属する学部の教務担当係に問い合わせてください。

(3) 共通教育科目における山口県立大学との遠隔授業について

共通教育にあつては、SCS教室において、山口県立大学との遠隔授業を実施しています。
平成17年度については、以下のとおり開講予定(定員：120名)となっています。

前期	火曜日9・10時限 政治学(国際関係論Ⅰ)	担当：小川 秀樹
	金曜日1・2時限 宗教学(アジア文化論Ⅰ)	担当：鈴木 隆泰
後期	火曜日5・6時限 社会と組織(国際ジャーナリズム論)	担当：吉本 秀子

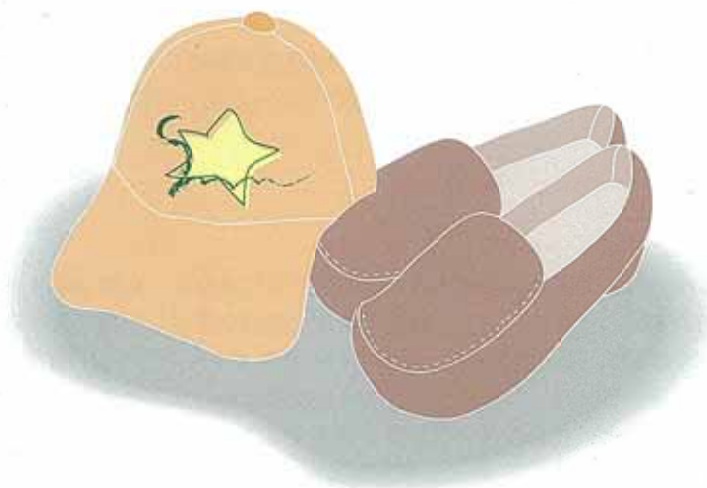
4 派遣留学先の授業科目の認定

(1) 派遣留学における単位認定

山口大学においては、諸外国の大学等教育機関に対して、大学間または学部間の学術交流協定を締結し、学生交流を推進しています。本学の派遣留学生となり、交流協定先大学の授業等を履修して、単位の認定を受ければ、本学における卒業に必要な単位(専門科目)として認定されることがあります。

(2) 派遣留学に関する問い合わせ

派遣留学に関する問い合わせについては、所属する学部の教務担当係または留学生課留学生係に問い合わせください。また、派遣留学先における修得単位の認定については、所属する学部の教務担当係に問い合わせてください。



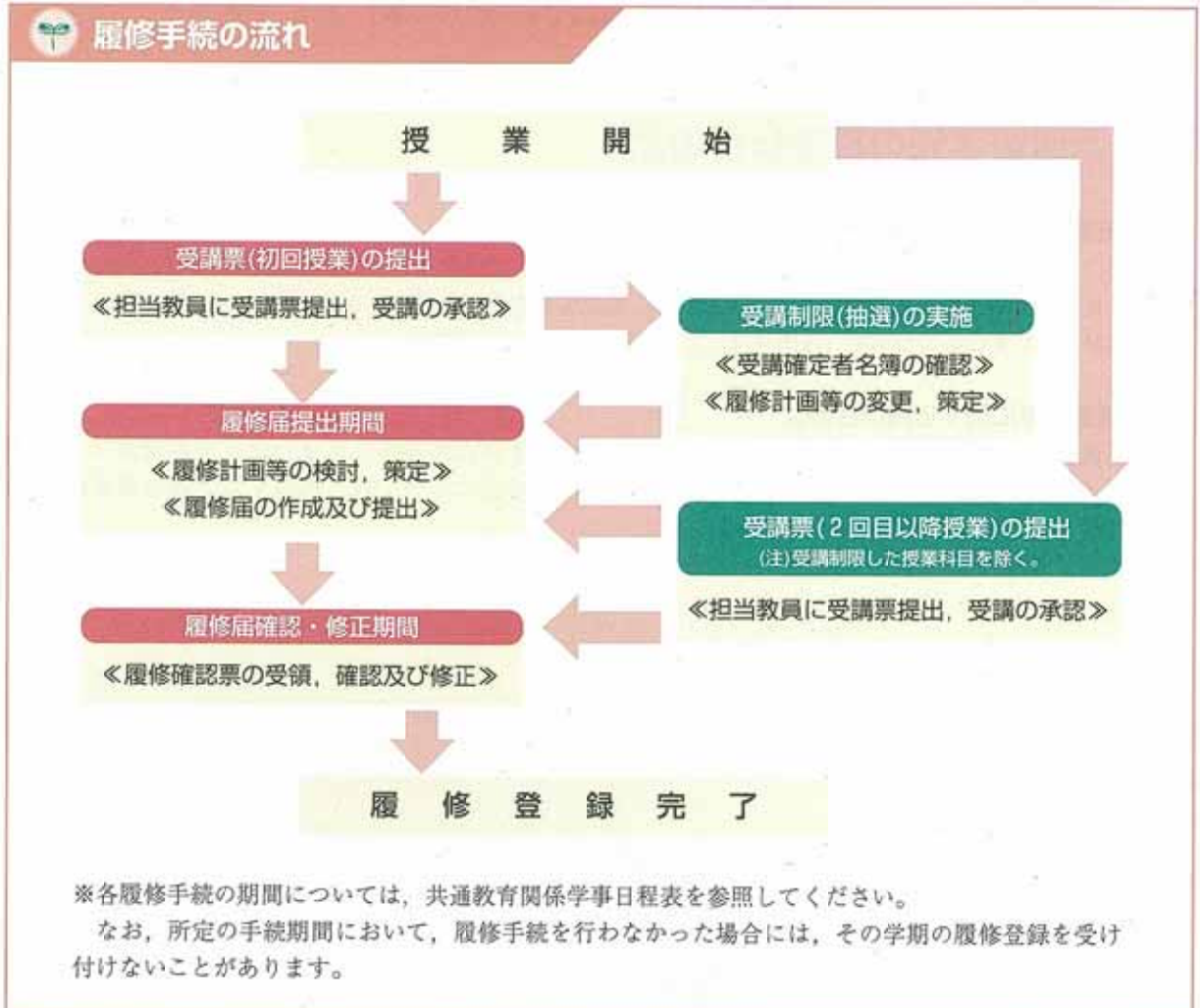


Ⅵ.履修手続について

1 履修手続について

(1) 履修手続の流れ

学務課共通教育係における履修手続の流れについては、以下のとおりです。



(2) 受講票の提出

共通教育科目を履修する学生は、共通教育履修案内に綴じ込みの受講票に、必要な事項を記入して、原則として、履修しようとする授業科目の初回の授業において、担当教員に受講票を提出し、担当教員の承認を受けてください。

なお、履修希望者多数の場合には、受講制限を行う授業科目もありますので、初回の授業に必ず出席してください。受講制限を実施していない授業科目については、2回目以降の授業において、受講票を提出することができますが、履修届確認・修正期間を経過すると、担当教員に受講票を提出することはできません。

(3) 履修届提出期間—履修届の提出

新入生オリエンテーション等にて配付される履修届に、共通教育科目及び専門科目の履修する授業科目をすべて記入して、以下の提出期間に、学務課共通教育係に提出してください。ただし、所属する学部によっては、学務課共通教育係だけでなく、所属する学部の教務担当係にも、履修届を提出する学部もありますので、留意してください。

なお、履修届に記入していない授業科目、担当教員及び時間制コード等を誤記入した授業科目については、履修すること及び単位を修得することができませんので、履修届を記入する際には、33ページの(4)履修届記入上の注意及び86ページの履修届記入例を参照にしながら、正確かつ丁寧に記入してください。

提出期間 前期：平成17年 4月18日（月）～平成17年 4月22日（金）17時（時間厳守）

後期：平成17年10月11日（火）～平成17年10月14日（金）17時（時間厳守）

提出場所 学務課共通教育係

(4) 履修届記入上の注意

- 履修届の記入にあたっては、HBの黒鉛筆を使用し、86ページの**履修届記入例**を参照にしながら、履修しようとする共通教育科目及び専門科目を正しく記入してください。授業科目等の記入の際には、まずこの履修案内の履修届（控）に記入し、その内容に誤記入等がないかを確認した後に、提出用の履修届に転記してください。
- 学籍番号については、学生証に記載してある学籍番号を正しく記入してください。学籍番号を誤記入すると、すべての授業科目の履修登録ができません。
- 住所については、アパート名及び部屋番号まで記入してください。
なお、記入された個人情報については、大学からの緊急時の連絡以外には、利用することはありません。
- 電話番号については、緊急の際であっても、連絡可能な電話番号を記入してください。携帯電話等を所持している場合には、その電話番号を記入してください。
なお、記入された個人情報については、大学からの緊急時の連絡以外には、利用することはありません。
- 授業科目、教員名及びコードについては、各記入欄の枠内に丁寧にかつ正確に記入してください。集中講義を履修する場合には、集中講義についても併せて記入してください。ただし、**前期または後期クォーター2の「TOEIC指導」については、何も記入しないでください。**
- コードについては、共通教育履修案内の共通教育授業時間割及び各学部の専門科目の授業時間割を確認し、正しく記入してください。コードを誤記入すると、自分の意思に反した授業科目を履修登録することになります。
- 週2コマ開講される授業科目については、1箇所のみ記入してください。2箇所記入すると、当該授業科目の履修登録ができません。
- 「スポーツ運動実習」、主題系列及び一般系列の授業科目については、種目及びテーマを（ ）書きにより記入してください。
- 履修届については、丁寧に取り扱い、折り曲げたり汚したりしないでください。

Q：正しく履修登録できるか、不安ですか？

A：履修登録については、各学部の履修の手引きや授業時間割、シラバスを参照にしながら、自分自身に適った履修登録を見つけていかななくてはなりません。

もしも、どの授業科目を履修すればよいのか、少しでも不安がある場合には、分からない箇所を整理してから、所属する学部の教務担当係に相談してください。みなさんの周りの他の誰よりも、正確かつ適切なアドバイスをしてくれます。

なお、次に説明する履修届確認・修正期間を経過すると、授業科目の新規登録や変更ができませんので、早めのアドバイスを受けてください。

(5) 履修届確認・修正期間－履修確認票の配付

履修確認票とは、学生のみなさんが提出した履修届を電算処理して、履修しようとするすべての授業科目について、曜日・時限、コード、授業科目、単位、担当教員等を記載した書類です。学生のみなさんは、以下の期間に配付される履修確認票を必ず受領し、その記載内容を慎重に確認し、その記載内容に少しでも誤表示等がある場合には、必ず**学務課共通教育係**に申し出てください。特に、履修確認票のチェック欄にエラー表示がある授業科目については、履修登録されていません。

なお、履修確認票に記載されていない授業科目については、履修すること及び単位を修得することができませんので、履修確認票を確認する際には、34ページの**(6) 履修確認票の確認事項等**を参照にしながら、確認してください。

また、配付された履修確認票については、再交付等されませんので、大切に保管してください。履修確認票を受領しない学生及び紛失等した学生については、その後の履修及び成績の問い合わせには、一切応じかねます。

配付期間 前期：平成17年 5月 9日（月）～平成17年 5月10日（火）17時（時間厳守）

後期：平成17年10月24日（月）～平成17年10月25日（火）17時（時間厳守）

※ 配付期間変更の場合がありますので、掲示を留意しておいてください。

配付場所 学務課共通教育係

(6) 履修確認票の確認事項等

- この履修案内の履修届(控)に記入した内容が、履修確認票に正確に反映されていますか?
- 自分の意思に反した授業科目が、表示されていませんか?
- 以下のようなエラー表示が、履修確認票のチェック欄に明示されていませんか?
 - A: コードが存在しない場合
 - B: 同じコードが複数存在する場合
 - C: 外国人留学生用の授業科目を履修登録している場合
 - D: 同一学期に同じ授業科目を履修登録している場合
 - E: 履修不可の授業科目を履修登録している場合
 - F: 同一の曜日・時限に重複して履修登録している場合
 - G: 上位学年の授業科目を履修している場合
 - K: 履修に必要な授業科目の単位を修得していない場合
- 「スポーツ運動実習」や「TOEIC準備」等については、正しい担当教員のクラスに登録されていますか?
- クラス指定のある授業科目については、正しいクラスに登録されていますか?
- 所属する学部の専門科目についても、正しく登録されていますか?

履修確認票 (例)

履 修 確 認 票											
平成17年度(前期)					平成17年 月 日						
学部生(登)	工学部(登開コース)	応用化学 1年生	学籍番号	05-2502-XXX-X	氏名	〇〇 〇〇	修正期限				
曜日	時限	申請コード	授業科目(下段:開校科目)	単位	区分	担当教員	開講学部	対象学科	コース	学年	チェック内容
月	3時限- 4時限	0711	基礎セミナー 基礎セミナー(工)	2	初期教育	山本 修一	学部生(登) 共	1年			A.
月	5時限- 6時限	6201	基礎有機・高分子化学 基礎有機・高分子化学	2		上村 明男	学部生(登) 工	応用化学		1年	B.
月	7時限- 8時限	0802	情報処理演習 情報処理演習	2	初期教育	山本 修一	学部生(登) 共	1年			C.
火	3時限- 4時限	0905	総合科目 食糧生産の理論と実践	2	一般総合	藤岡 克	学部生(登) 共	3年			D.
火	5時限- 6時限	0105	倫理学 倫理学	2	倫理学	杉尾 玄有	学部生(登) 共	1年			E.
火	7時限- 8時限	9043	TOEIC準備 TOEIC準備	1	英語	松谷 睦	学部生(登) 共	1年			K.
水	1時限- 2時限	0632	スポーツ運動実習 スポーツ運動実習(ハンドボール)	1	応用科学	森田 俊介	学部生(登) 共	1年			F.
水	3時限- 4時限	0446	化学 I 化学 I	2	化学	中山 雅晴	学部生(登) 共	1年			G.
水	5時限- 6時限	9628	中国語初級 1 a 中国語初級 1 a	2	中国語	秋山 洋	学部生(登) 共	1年			B.
水	5時限- 6時限	9628	中国語初級 1 a 中国語初級 1 a	2	中国語	秋山 洋	学部生(登) 共	1年			B.
水	7時限- 8時限	9643	中国語初級 1 b 中国語初級 1 b	2	中国語	田 梅	学部生(登) 共	1年			
木	1時限- 2時限	9918	日本語 日本語上級Ⅱ	1	日本語	渡邊 洋一	学部生(登) 共	1年			C.
木	3時限- 4時限	0107	生命倫理学 生命倫理学	2	倫理学	谷田 憲俊	学部生(登) 共	1年			F.
木	3時限- 4時限	0396	物理学 I 物理学 I	2	物理学	山本 恒史	学部生(登) 共	1年			F.
金	3時限- 4時限	0326	数学 I 数学 I	2	数学	木内 功	学部生(登) 共	1年			
金	5時限- 8時限	0572	物理学実験 B 物理学実験 B	1	自然実験	藤澤 健太	学部生(登) 共	1年			
金	5時限- 8時限	0575	化学実験 B 化学実験 B	1	自然実験	青島 均	学部生(登) 共	1年			
-	-	9999									A.
		計		11 科目	18						

1. チェック欄にアルファベット表示のある科目は登録できません。
2. 修正等の場合は必ず記載されている修正期限までに履修届を提出すること(再度、全科目記入すること)。提出しない場合は、チェック欄にアルファベット表示のある科目を除いてこのまま登録されます。
3. 修正期限が空の場合には再提出できません。チェック欄にアルファベット表示のある科目を除いてこのまま登録されます。

2 履修手続に関する注意事項

(1) クラス指定の授業科目について

授業科目によっては、学部及び出席番号(学籍番号の7桁から9桁の数)によりクラス指定されているものがあります。クラス指定された授業科目については、原則として、該当する対象学生以外履修することはできません。

(2) 重複履修の禁止

同一の曜日及び時間において、2つ以上の授業科目を重複履修することはできません。重複履修の場合には、そのすべての単位を無効とします。

(3) 既修得授業科目の再履修について

積み上げ履修可能な授業科目を除いて、既に単位を修得した授業科目を再び履修し、単位を修得しても、卒業に必要な単位に加算することはできません。

また、既に単位を修得した授業科目の評価については、再び単位を修得したとしても、過去の評価を改変することはできません。つまり、「可」の評価であった授業科目について、再履修により「優」の評価を受けたとしても、「可」の評価に「優」の評価を加えることとなります（「可」の評価を抹消することはできません。）。

3 履修及び授業に関する問い合わせ

(1) 履修に関する問い合わせ

共通教育科目の履修に関する問い合わせについては、原則として、**所属する学部の教務担当係**に申し出てください。ただし、1年次の医学部及び工学部の学生については、学務課共通教育係に申し出てください。

なお、履修に関する問い合わせをする際には、配付された履修確認票を必ず持参してください。

(2) 授業に関する質問等

授業に関する質問については、共通教育シラバスに記載されているオフィスアワー（注）を利用して、担当教員にコンタクトをとってください。教員の研究室については、**附表の共通教育担当教員名簿**に記載されています。

また、非常勤講師については、授業の開始前及び終了後等の時間を利用して、質問するのが良いでしょう（**非常勤講師控室：共通教育本館1階**）。学務課共通教育係においては、**非常勤講師の連絡先等については、学生に教えることはできません。**

（注）オフィスアワーとは、授業等についての学生の質問等に応じるために、教員があらかじめ設定した時間において、学生の訪問を受け入れる制度です。





Ⅶ. 共通教育の定期試験について

1 定期試験について

(1) 定期試験

共通教育科目の定期試験については、原則として2週間の定期試験期間において、筆記試験により実施します。ただし、担当教員によっては、定期試験に替えて、レポート等の提出や実技・実習等により行われることもあります。

なお、担当教員によっては、中間試験等を実施することもありますので、各授業時間内におけるお知らせや掲示に留意しておいてください。

Q：大学の定期試験ですが、どのように実施されるの？

A：大学の定期試験については、授業内容に沿った筆記試験を行うものが多いですが、定期試験を何も実施しない授業科目や、定期試験の代わりに、レポートを提出させたりする担当教員もいます。また、筆記試験に際しても、テキストやノートの持込を許可している担当教員もいます。このように、大学の定期試験については、高等学校の定期試験と異なり、担当教員ごとに、多種多様な形式により実施されます。

授業科目ごとの定期試験の実施の有無については、共通教育シラバスに記載されていますので、最初に確認しておくといと思います。また、授業に出席していると、担当教員から定期試験のヒントを得られたりすることもあります。担当教員から、友人及び先輩から、いろいろな情報をキャッチして、その情報に基づいて、きちんと学習に取り組んでいけば、きっと良い結果を期待できるはずですよ。

それから、定期試験の際には、決してカンニング（不正行為）を行わないでくださいね。試験監督者に聞いてみると、「態度や仕草を見ていれば、カンニングをしている学生については、すぐに分かる！」ですよ。

(2) 定期試験の時間割発表

共通教育科目における定期試験の時間割の発表については、**定期試験開始日の1週間前**に、掲示により行います。なお、**専門科目の定期試験の時間割等については、所属する学部の指示に従ってください。**

2 定期試験の受験上の注意

(1) 不正行為

定期試験等において、不正行為を行った学生については、その行為が発覚した時点から謹慎処分となり、**その学期における当該学生の履修した授業科目すべての単位が無効**となり、学則により相応の懲戒処分を受けることになります。

(2) 学生証の提示

定期試験を受験する際には、必ず**学生証を持参し、机の上に提示**してください。学生証を忘れた学生については、定期試験を受験することができません。

なお、学務課共通教育係においては、学生証を紛失等した学生が、定期試験の受験当日にその旨を申し出たとしても、いかなる対処もできません。

(3) 試験室の入室等について

試験室には、**試験開始時刻の5分前**に入室し、他の学生と隣り合わないよう、横を1列ほど間隔を空けて、着席してください。

なお、担当教員により座席指定されている場合には、所定の座席に着席してください。

(4) 定期試験時間中の所持品等について

筆記用具及びあらかじめ許可されたもの以外のものについては、机の上に置くことはできません。定期試験に必要なとしない所持品(筆箱及び下敷き等を含む。)等については、かばん等の中に入れて、机の下に置いてください。

特に、携帯電話及びPHSについては、電源を必ずオフにして、その他の所持品等と同様に、かばん等の中に入れてください。原則として、携帯電話及びPHSを時計代わりに使用することは、禁止されています。

(5) 遅刻者及び退出者の取り扱い

試験開始から20分以上遅刻した学生については、受験することができません。

また、試験開始から30分以上経過するまでは、試験室から途中退出することができません。

(6) その他の注意事項

定期試験の答案用紙には、所属学部・学科等、学籍番号及び氏名を最初に明記してください。これらを記入していない答案については、無効となることがありますので、留意してください。

また、定期試験時間中に、試験監督者の指示及び注意事項を遵守しない学生については、退席を命じられることがあります。

3 追試験について

(1) 追試験とは

追試験とは、定期試験を受験できない事由のある学生を対象として、学生本人の申請に基づき、その事由を「真にやむを得ない事由」として認める場合に限り、実施する試験です。

(2) 「真にやむを得ない事由」及び申請に必要な証明書類

追試験の対象となる「真にやむを得ない事由」については、以下のとおりです。

なお、追試験を申請する際には、それぞれの事由に該当する証明書類について、必ず提出しないとできません。

「真にやむを得ない事由」	必要な証明書類
疾病	医師の診断書
忌引(2親等内の親族に限る。)	会葬御礼の書面等
公共交通機関の事故または遅延	公共交通機関発行の事故(遅延)証明書
国家(地方)公務員試験の第2次試験受験	第1次試験の合格通知書
大学教育センター長が、真にやむを得ない事由であると認めた場合	追試験を必要とする経緯を示した書面等

(3) 追試験の申請手続

原則として、事前に「共通教育科目追試験願」に所定事項を記入及び押印し、受験することができない事由を証明する書類を添付して、学務課共通教育係に提出してください。

なお、事前に申請することが時間的に困難な場合には、該当する授業科目の定期試験開始前までに、学務課共通教育係に連絡し、了解を得てください。この場合の申請書類については、該当する授業科目の定期試験実施日から1週間以内に、学務課共通教育係に提出しないとできません。

なお、専門科目については、所属する学部の教務担当係に申請してください。ただし、医学部及び工学部の1年次生については、学務課共通教育係に提出してください。

(4) 追試験の実施

追試験については、当該学期の定期試験終了後に、速やかに実施します。

なお、追試験の実施日時及び試験室等については、学務課共通教育係から申請者本人に電話連絡があります。

4 成績の通知等について

(1) 成績の通知について

成績の通知については、次学期の開始前等において、所属する学部の教務担当係等から、成績通知票が配付されます。配付された成績通知票については、再交付等されませんので、大切に保管してください。成績通知票の配付日時等については、掲示により通知しますので、特に留意してください。

なお、学務課共通教育係においては、成績通知票の配付以前にあっては、いかなる事由によっても、個別に成績を通知することはできません。

(2) 成績の自己管理

卒業するまでの成績及び単位数等については、配付された成績通知票を保管し、自己の責任により自分の単位修得状況等を正確に把握しておいてください。配付された成績通知票については、所属する学部の履修の手引き等にはり付ける等して、紛失等しないようにしてください。

成績の自己管理を怠っていると、単位数の修得状況の勘違い等により卒業(進級)できない事態を招きかねませんので、留意してください。

(3) 成績に関する問い合わせ

共通教育科目の成績に関する問い合わせについては、原則として、**所属する学部の教務担当係**に申し出てください。ただし、1年次の医学部及び工学部の学生については、学務課共通教育係に申し出てください。

なお、成績に関する問い合わせをする際には、配付された履修確認票及び成績通知票を必ず持参してください。

Q：共通教育科目の修得単位、どうやって管理するの？

A：繰り返しにはなりますが、学生のみなさんが修得した成績及び単位については、自分自身が正確に管理しないとイケません。例えば、4年生になって、所属する学部の教務担当係から、「共通教育科目の〇〇の単位を修得していないから、今年の前期に単位を修得しないと卒業できません!」と、連絡されることはありません。

成績及び単位の修得状況については、学期ごとに、所属する学部の教務担当係等から、今までに単位を修得した共通教育科目及び専門科目の授業科目や単位数等を記載した成績通知票が配付されます。この成績通知票を大切に保管し、「今まで修得している授業科目や単位数」や「卒業までに修得しないとイケない授業科目及び単位数」について、常に正確に把握し、次の学期において、どの授業科目を履修しないとイケないか、自分自身が決定しなくてはイケません。「**成績通知票の確認** → **次の学期の履修届提出**」にあたっては、学生のみなさん自身が、細心の注意を払う必要があります。

単位修得状況等に少しでも不安がある場合には、早めに所属する学部の教務担当係のアドバイスを受けて良いでしょう。





Ⅷ. 共通教育における学生生活について

1 共通教育に関する諸連絡等について

(1) 大学生活における心得—自己責任

山口大学において、学生のみなさんが学習していく過程にあつて、最も大切なことはとて言えば、**自己責任**を負うということです。社会人としては当然のことなのですが、自分自身の行動については、自分自身が責任を持つという態度が、大学生の最低限のルールです。

(2) 掲示の確認について

共通教育科目に関する学生への諸連絡については、**共通教育本館1階の情報処理大演習室前の電子掲示板及び共通教育本館—共通教育合併講義棟の渡り廊下の共通教育掲示板**において、掲示により指示しますので、**1日1回程度、掲示板を忘れずに確認してください。**

掲示の見落としによって、レポートの提出期限に遅れたり、各種のオリエンテーションに欠席したり、休講や教室変更の情報を得られなかったりして、不利益を生じることがあります。**これらの不利益とは、自分自身の不注意によるもの以外の何ものでもありません。自己責任の意識を明確に持って、行動してください。**

(3) 学務課共通教育係の執務時間について

掲示等により呼び出しされた場合や履修届の提出等の諸手続を行う場合、履修及び成績等に関するアドバイスを受ける場合には、学生のみなさんが、学務課共通教育係に出向き、行うことになっています。学務課共通教育係においては、以下の執務時間に窓口対応を行っています。

また、学割証等の自動発行している証明書自動発行機についても、以下の執務時間に準じて、稼動していますので、留意してください。

なお、学務課共通教育係においては、原則として、電話による問い合わせについては、受け付けていません。

執務時間 8時30分～18時30分(大学休業日(土曜日、日曜日及び祝祭日)を除く。)

ただし、17時30分～18時30分については、係員1名の対応となります。

また、長期休業期間中については、8時30分～17時30分となります。

(4) レポートの提出について

担当教員によっては、授業時間内または掲示等によって、レポート提出の指示がある授業科目があります。担当教員の指示に基づきレポートを作成して、所定の提出場所及び提出期限等を厳守し、提出してください。

なお、担当教員から特に用紙等の指示のない場合には、できるだけ**A4版のレポート用紙**を使用し、所属する学部及び学科・課程、学籍番号、氏名を明記してください。

また、学務課共通教育係を提出場所としているレポートにあつて、担当教員から特に提出期限の時刻を定められていない場合には、その時刻については、**提出期限日の17時(厳守)**としますので、遅れないように、提出してください。

(5) 欠席届について

疾病、忌引、教育実習、就職試験等やむを得ない事由により共通教育科目の授業を欠席する場合には、欠席届を提出することができます。欠席届には、所属する学部及び学科・課程、学籍番号、氏名、欠席日時及び欠席事由について、**A4版のレポート用紙**に学生本人が記入して、各授業の担当教員に提出してください。学務課共通教育係においては、所定の欠席届(様式)については、作成及び配付等を行っていません。

なお、欠席届については、担当教員に欠席を届け出るためのものであり、出席扱いになるものではありません。

(6) 個人情報の取り扱いについて

本学では、大学に提出された書類に記入されている家族及び学生本人の個人情報については、大学からの緊急時の連絡以外には、利用することはありません。

2 台風時に伴う授業及び定期試験の取り扱い

(1) 台風時に伴う授業及び定期試験の取り扱いについて

山口県中部地区において、暴風警報が発令された場合には、吉田キャンパスの授業及び定期試験については、**発令された時刻に行われている授業及び定期試験の終了後、次の時限から休講**となります。また、**1時限開始前に発令された場合には、1時限から休講**となり、**休憩時間に発令された場合には、次の時限から休講**となります。

ただし、警報が解除された時刻に基づいて、吉田キャンパスの授業及び定期試験については、以下のように措置されます。

なお、小串及び常盤キャンパスにおいては、各学部長及び教育担当副学長の協議により、決定するものとします。

対象時刻	警報発令状況	対応措置等
午前 7 時	解除されている場合	終日授業等実施
	解除されていない場合	午前授業等休講
午前 11 時	解除されている場合	午後授業等実施
	解除されていない場合	午後授業等休講

(2) 休講等措置の周知方法について

学生のみなさんは、マスメディア等により警報の発令状況等を確認して、対応してください。

なお、休講等措置については、共通教育及び各学部の掲示板においても、掲示されます。また、授業等時間中において、休講等措置を決定した場合には、各授業の担当教員からも通知されます。

(3) 台風以外の緊急事態における授業及び定期試験の取り扱いについて

また、台風以外の地震及び風雪水害等の緊急事態が発生し、授業及び定期試験に支障があると予想される場合には、学長及び教育担当副学長が協議を行い、休講等の措置を決定します。

3 学生生活における留意事項

(1) 駐車及び駐輪について

自動車及びバイクの入構については、あらかじめ許可された自動車以外の入構を禁止しています。

なお、許可された自動車及びバイクについては、所定の駐車場または駐輪場に駐車してください。自動車及びバイクによる構内の移動についても、認められていません。

また、自転車については、他の学生及び緊急車両等の通行の妨げになりますので、所定の駐輪場に必ず駐輪してください。共通教育棟玄関前や共通教育棟周辺の道路及び通路等に駐輪している自転車については、強制的に撤去することがあります。

(2) 喫煙対策について

学生及び教職員の健康の保持・増進及び快適な教育環境づくりの推進のため、大学構内におけるすべての建造物内における喫煙については、禁止されています。喫煙する場合には、所定の喫煙場所（共通教育棟については、**附表の共通教育棟配置図**参照してください。）において、必ず喫煙してください。

なお、歩きながらの喫煙及び吸い殻の投げ捨てについても、禁止されています。

(3) 遺失物の取り扱いについて

共通教育棟及びその周辺において、所持品等を紛失した場合には、学務課共通教育係または学生支援課に届いていることがあります。届いた遺失物のうち、貴重品及び所有者の明らかなものについては、掲示等により連絡します。それ以外の遺失物については、学務課共通教育係及び学生支援課の遺失物書架に保管していますので、自分のものがある場合には、窓口申し出てください。

また、共通教育棟及びその周辺において、遺失物を拾得した場合にも、学務課共通教育係または学生支援課に届けてください。

なお、テキスト及び辞書等の遺失物が多いので、学生のみなさんの所有物については、所属する学部及び学科・課程、学籍番号及び氏名を明記しておいてください。

(4) ゴミの分別について

ゴミについては、燃えるゴミ、燃えないゴミ、ビン、缶、ペットボトルに分別して、所定のゴミ箱に捨ててください。

(5) その他の注意事項

授業の終了後等において、最後に教室を退出する場合には、板書を消し、窓締め及び消灯を確認してから退出してください。器物等を破損した場合または器物等の破損及び漏水等を発見した場合には、速やかに学務課共通教育係に申し出てください。

4 共通教育棟の教室使用について

(1) 授業時間帯の教室使用について

授業時間帯の教室使用については、授業に使用されていない教室であれば、他の授業に支障のない限り、利用することができます。ただし、使用後にあっては、板書を消し、窓締め及び消灯を確認してから退出してください。

(2) 授業時間帯以外の教室使用について

サークル活動等により授業時間帯以外に教室を使用する場合には、学生支援課に問い合わせてください。ただし、使用後にあっては、板書を消し、清掃を行い、窓締め及び消灯を確認してから退出してください。**器物を破損等した場合には、速やかに届け出てください。**

なお、入学試験等の学校行事及び学会の開催等により、使用できない場合もありますので、使用日については、事前に学生支援課に確認してください。

(3) 教室における活動の制限

料金の徴収や物品の販売等の営利行為を目的とする場合や政治的及び煽動的な活動を目的とする場合には、**教室を使用できません。**このような活動を行っている場合には、直ちに教室の使用を中断させ、強制的に退出させます。

5 共通教育メディア教育棟の情報処理演習室の使用について

(1) 情報処理演習室の設置

共通教育メディア教育棟において、**情報処理演習室（演習室Ⅰ：55台、演習室Ⅱ：54台）**を設置しています。授業等に使用されていない時間帯にあっては、開放教室として、学生のみなさんの自習等に利用することができますので、有効に活用してください。

なお、情報処理演習室の利用にあたっては、情報処理演習室に掲示されている利用上の留意事項等を熟読して、利用マナーを遵守してください。

(2) 利用時間等について

利用時間については、授業に使用されている時間を除いた以下の時間となっています。ただし、利用可能な時間帯であっても、集中講義や研修会等の実施により、利用できない場合もありますので、共通教育メディア教育棟の掲示に留意してください。

利用時間 8時30分～17時30分（大学休業日（土曜日、日曜日及び祝祭日）を除く。）

6 共通教育本館コインロッカーの使用について

(1) コインロッカーの設置

【スポーツ運動実習】等の授業等におけるノートパソコン等の所持品の一時的な保管庫として、コインロッカー（20台200名分）を共通教育本館2階の踊り場に設置していますので、有効に活用してください。

(2) 利用時間等について

利用時間については、以下の時間となっています。

利用時間 8時30分～18時00分（大学休業日（土曜日、日曜日及び祝祭日）を除く。）

また、1日当りの個人の利用時間については、2時間以内とします。長期占有については、厳禁とします。長期占有利用している場合には、使用者に断ることなく、コインロッカーを開錠し、物品等を移動させることがあります。

(3) 使用方法について

コインロッカーを利用する際には、100円硬貨をコイン投入口に投入してから、施錠してください。投入した100円硬貨については、開錠の際に返戻されます。

(4) 使用にあたっての留意事項

コインロッカーに保管した物品等が盗難等の被害に遭ったとしても、大学教育センターにおいては、一切責任を負うことはできませんので、あらかじめご了承ください。

また、コインロッカーの破損及び鍵の紛失等の場合には、原状回復のための修理費用等については、当該使用者の自己負担となりますので、留意してください。





Ⅸ. 山口大学共通教育科目履修規則

(趣旨)

- 第1条** この規則は、国立大学法人山口大学学則（平成16年規則第1号。以下「本学学則」という。）
第27条第2項の規定に基づき、共通教育科目の履修方法、試験等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(授業科目及び単位数)

- 第2条** 授業科目及び単位数は、別表のとおりとする。
- 2 各授業科目は、半年学期制により開講するものとする。
 - 3 1授業科目につき修得できる単位数は、原則として4単位、2単位又は1単位とする。

(外国人留学生対象の授業科目)

- 第3条** 前条に定める授業科目のうち、「日本語」及び「日本事情」の分野の授業科目は、外国人留学生対象の授業科目として開設し、修得できる単位数は、各学部が別に定める。
- 2 前項以外の学生は、各学部の定めるところにより、「日本事情」の分野の授業科目を人文科学系列又は社会科学系列の授業科目に替えることができる。
 - 3 「日本語」の分野の授業科目は、30時間の授業をもって1単位とし、「日本事情」の分野の授業科目は、30時間の授業をもって2単位とする。

(単位の計算)

- 第4条** 各授業科目の単位の計算は、学則第38条第1項第1号及び第2号並びに前条第3項の定めるところによる。

(共通教育科目の年次配当)

- 第5条** 年次における配当は、学部規則の定めるところによる。

(卒業に必要な授業科目及び単位数)

- 第6条** 卒業に必要な共通教育の授業科目及び単位数は、学部規則の定めるところによる。

(履修手続)

- 第7条** 学生は、毎学期指定の期日までに、履修しようとする共通教育科目を所属学部長に届け出なければならない。ただし、入学した年度にあっては、山口大学大学教育センター長（以下「センター長」という。）を経て所属学部長へ届け出るものとする。

(履修科目の評価)

- 第8条** 履修科目の評価は、各授業担当の大学教育職員等が、出席状況及び試験の成績等によって行う。
- 2 評価は、秀、優、良、可及び不可をもって表し、可以上を合格とする。
 - 3 評価は、センター長から当該学部長へ通知する。

(試験)

- 第9条** 試験は、学期末に行う。ただし、必要がある場合は、学期末以外の時期に行うことがある。
- 2 前項の規定にかかわらず、平常の成績をもって試験に代えることがある。
 - 3 学生は、第7条の手続を経ていない科目については、受験することができない。

(追試験等)

- 第10条** やむを得ない事情により、所定の試験に欠席した者に対しては、特に審議の上、追試験を行うことがある。
- 2 追試験に関して必要な事項は、別に定める。

(単位の認定)

- 第11条** 単位の認定は、各学部が行う。

(他の大学等及び入学前の修得単位等の認定)

第12条 本学学則第32条から第34条までの規定に基づく共通教育の単位の認定は、センターの審査を経て、各学部が行う。

2 前項に関して必要な事項は、別に定める。

(雑則)

第13条 この規則に定めるもののほか、この規則の実施に関し必要な事項は、大学教育機構運営委員会の議を経てセンター長が定める。

附則

この規則は、平成8年4月1日から施行し、平成8年度に入学する者(この規則施行の際現に在学する者の属する年次に編入学、転入学又は再入学する者を除く。)から適用する。

附則

- 1 この規則は、平成10年4月1日から施行する。
- 2 平成10年3月31日以前の入学者の授業科目及び単位数は、改正後の第2条別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附則

この規則は、平成12年4月11日から施行し、この規則による改正後の山口大学共通教育科目履修規則の規定は、平成12年4月1日から適用する。

附則

この規則は、平成12年10月1日から施行する。

附則

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附則

- 1 この規則は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 平成14年3月31日以前の入学者の授業科目及び単位数、外国人留学生対象の授業科目、単位の計算並びに共通教育科目の授業科目及び単位数は、改正後の第2条、第3条及び第4条並びに別表(第2条関係)2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附則

- 1 この規則は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 平成15年3月31日以前の入学者の共通教育科目の授業科目及び単位数は、改正後の別表(第2条関係)の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、平成14年度入学者については、従前の共通教育科目の授業科目及び単位数に、応用科学系列の応用科学分野の授業科目に「気象学概論(2単位)」を加えたものを適用する。

附則

- 1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 平成16年3月31日以前の入学者の共通教育科目の授業科目及び単位数は、改正後の別表(第2条関係)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附則

- 1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 平成17年3月31日以前の入学者の共通教育科目の授業科目及び単位数並びに履修科目の評価は、この規則による改正後の山口大学共通教育科目履修規則別表(第2条関係)及び第8条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。



共通教育科目の授業科目及び単位数

系列	分野	授業科目	単位数
主 題	思想と文化	思想と文化	2
	芸術と表現	芸術と表現	2
	社会と組織	社会と組織	2
	環境と人間	環境と人間	2
	自然と科学	自然と科学	2
	健康とスポーツ	健康とスポーツ	2
人 文 科 学	哲学	哲学	2
	倫理学	倫理学	2
		生命倫理学	2
	歴史学	日本史	2
		東洋史	2
		西洋史	2
	宗教学	宗教学	2
	心理学	心理学	2
	文学	日本文学	2
		漢文	2
		外国文学	2
	言語学	言語学	2
	芸術	芸術史	2
		芸術概論	2
芸術実践		2	
社 会 科 学	法学	法学	2
		日本国憲法	2
	政治学	政治学	2
	経済学	経済学	2
	社会学	社会学	2
	地理学	地理学	2
	民俗学	民俗学	2
	文化人類学	文化人類学	2
	教育学	教育学	2
	情報学	情報メディア論	2
	産業倫理	産業倫理	2
	ベンチャービジネス論	ベンチャービジネス論	2
	社会科学総合	社会科学概論	2
自 然 科 学	数学	数学入門1	1
		数学入門2	1
		数学Ⅰ	2
		数学Ⅱ	2
	物理学	物理学入門1	1
		物理学入門2	1
		物理学Ⅰ	2
		物理学Ⅱ	2
	化学	化学入門1	1
		化学入門2	1
		化学Ⅰ	2
		化学Ⅱ	2
	生物学	生物学入門1	1
		生物学入門2	1
		生物学Ⅰ	2
		生物学Ⅱ	2
	地球科学	地球科学Ⅰ	2
地球科学Ⅱ		2	

系列	分野	授業科目	単位数
自然科学	自然科学概論	数学概論	2
		物理学通説	2
		現代化学総説	2
		現代生物学総説	2
		現代地球科学総説	2
	自然科学の考え方	数学の考え方	1
		物理学の考え方	1
		化学の考え方	1
		生物学の考え方	1
		地球科学の考え方	1
	自然科学実験	自然科学実験	2
		物理学実験A	2
		物理学実験B	1
		化学実験A	2
		化学実験B	1
生物学実験		2	
地球科学実験		2	
応用科学	統計学	社会科学のためのやさしい統計学	2
		理工学のための統計学	2
		医学のための統計学	2
	情報処理概論	情報処理概論	2
	医療福祉	介護論	1
		福祉ボランティア論	2
		社会福祉学	2
		発達心理学	2
		医療心理学	2
		科学史	2
	応用科学	技術概論	2
		技術史	2
		生命科学概論	2
		環境学	2
		生活科学	2
		人間環境論	2
		気象学概論	2
		社会と医療	2
		デザイン工学入門	2
		スポーツ医学	2
運動健康科学		2	
行動科学		2	
スポーツ運動実習		1	
初期教育		初期教育	フレッシュマンセミナー（新入生合宿）
	基礎セミナー		2
	情報処理	情報処理演習	2
	※日本事情	日本事情	2
外国語教育	英語	TOEIC準備	1
		TOEIC指導	1
		英語基礎文法	2
		English Speaking	2
		TOEIC認定400	0
		英語リーディング	2
		英語ライティング	2
		英語特別演習	2
		Comprehensive English Fundamental	2
		Comprehensive English Pre-Intermediate	2
		TOEIC認定500 (TOEFL450)	2

系列	分野	授業科目	単位数
外国語教育	英語	TOEIC認定600 (TOEFL500)	2
		医学英語 1	4
		医学英語 2	2
	医療英語	医療英語	2
		基礎医療英会話	2
		医療英会話	2
	初習外国語入門	ドイツ語入門 1	2
		ドイツ語入門 2	2
		フランス語入門 1	2
		フランス語入門 2	2
		中国語入門 1	2
		中国語入門 2	2
		ハングル入門 1	2
		ハングル入門 2	2
	ドイツ語	ドイツ語初級 1	4
		ドイツ語初級 2	4
		ドイツ語会話 1	2
		ドイツ語会話 2	2
		ドイツ語中級 1	2
		ドイツ語中級 2	2
	フランス語	フランス語初級 1	4
		フランス語初級 2	4
		フランス語会話 1	2
		フランス語会話 2	2
		フランス語中級 1	2
		フランス語中級 2	2
	中国語	中国語初級 1 a	2
		中国語初級 1 b	2
		中国語初級 2 a	2
		中国語初級 2 b	2
		中国語初級会話 1	2
		中国語初級会話 2	2
		中国語中級 1	2
		中国語中級 2	2
		中国語中級会話 1	2
		中国語中級会話 2	2
		中国語閲読 1	2
		中国語閲読 2	2
	ハングル	ハングル初級 1	4
		ハングル初級 2	4
		ハングル初級会話 1	2
		ハングル初級会話 2	2
ハングル中級 1		2	
ハングル中級 2		2	
※日本語	日本語	1	
一般	一般総合	総合科目	2
		総合科目 (医療環境論)	4
		総合科目 (知的財産権論)	2

備考 表中の※の「日本事情」及び「日本語」の分野の授業科目は、外国人留学生を対象とした授業である。